brother

ユーザーズガイド ネットワーク操作編

HL-4570CDW
HL-4570CDWT

困ったときは

本製品の動作がおかしいとき、故障かな?と思ったときなどは、以下の手順で原因をお調べください。

1 7 章「困ったときは（トラブル対処方法）」で調べる

2 サポート　ブラザー　検索

ブラザーのサポートサイトにアクセスして、最新の情報を調べる
http://solutions.brother.co.jp/

ブラザーマイポータル

オンラインユーザー登録をお勧めします。
https://myportal.brother.co.jp/

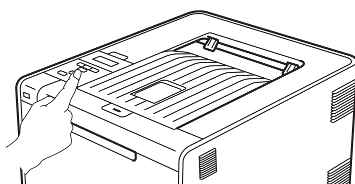
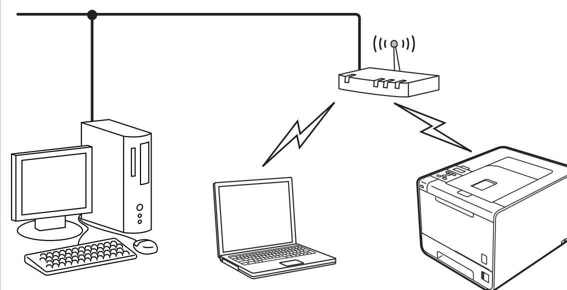
ご登録いただくと、製品をより快適にご使用いただくための情報をいち早くお届けします。

Version 0 JPN

やりたいことがすぐ探せる! やりたいこと目次 4P

目 次

やりたいこと目次

操作パネルを使ってネットワークの設定をしたい。 操作パネルのボタンを操作して、ネットワーク上で本製品を使用するための設定ができます。 詳しくは⇒ 41 ページを参照してください。 	**無線 LAN を使う** LAN ケーブルを使用しないで、無線でネットワークに接続できます。 詳しくは⇒ 15 ページを参照してください。 
ウェブブラウザーを使って本製品を管理する。 標準のウェブブラウザーから本製品に HTTP を使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。 詳しくは⇒ 50 ページを参照してください。	**BRAdmin Light を使って本製品を設定する。** 付属のソフトウェア BRAdmin Light 使ってアクセスし、管理や設定をすることができます。 詳しくは⇒ 10 ページを参照してください。

VCCI規格

本製品は、クラスＢ情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。ユーザーズガイドに従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

無線LAN機器使用の際のご注意

電波に関するご注意

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品のチャンネルを変更するか、または電波の発射を停止してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りの場合は、弊社「お客様相談窓口」へお問い合わせください。

補足

本製品の設置場所によって、最大70メートルまで届きます。最大の到達距離や通信速度は、設置する環境と使用する機器の種類により異なります。

電波の種類と干渉距離

2.4 DS4/OF4

「2.4」：2.4GHz帯を使用する無線設備を表す。
「DS」：変調方式がDS-SS方式であることを表す。（IEEE802.11bのとき）
「OF」：変調方式がOFDM方式であることを表す。（IEEE802.11gのとき）
「4」　：想定される与干渉距離が40m以下であることを表す。
「---」：全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する。

無線モジュール内蔵について

本製品は、日本の電波法に基づき認証された無線モジュールを搭載しております。

本ガイドの読みかた

章を示します。

インデックスです。
現在の章を黒色で示します。

大見出しです。

ネットワークの設定

ネットワーク環境で本製品を使用する前に、TCP/IPの設定をする必要があります。
この章では、TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク印刷をするために必要な基本手順について説明します。

中見出しです。

BRAdmin Lightで設定する

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されている本製品の初期設定用ユーティリティソフトです。ネットワーク上の本製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が可能です。
BRAdmin Lightは、Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2003/2008、Mac OS X 10.4.11 以降のコンピューターで利用できます。Windows®をご使用の場合は、本製品に付属のかんたん設置ガイドを参照し、BRAdmin Light をインストールしてください。Macintosh をご使用の場合は、プリンタードライバーをインストールすると、自動的に BRAdmin Light もインストールされます。すでにプリンタードライバーをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

補足項目です。

補足

- TCP/IP ネットワークで接続された本製品を自動的に検索し、IP アドレスなどのネットワーク設定を変更できるので、ネットワーク管理が簡単に行えるようになります。
- さらに高度なプリンター管理を必要とする場合は、BRAdmin Professional（Windows®版のみ）をご利用ください。BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてご使用ください。

小見出しです。

BRAdmin Lightでの設定方法

注意していただく
内容です。

注意

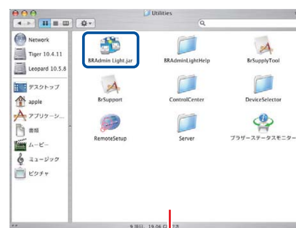
■BRAdmin Lightは付属のドライバー &ソフトウェアCD-ROM内に収録されています。
■さらに高度なプリンター管理を必要とされる場合は、BRAdmin Professional ユーティリティ（Windows® 版のみ）をご利用ください。
BRAdmin Professionalはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で提供しております。
■現在設定されているノード名やMACアドレスを調べるときは、「ネットワーク設定リスト」を印刷します。
詳しくは⇒35ページを参照してください。

閲覧する内容を説明しているページを示します。

操作手順です。

1 Windows® は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順に選択する
BRAdmin Lightが起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

Macintosh は、デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］の順に選択する
BRAdmin Light が起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。



補足

Macintoshの場合BRAdmin Lightは、ドライバーをインストールすると自動的にインストールされます。

操作手順を補足する手順画面やイラストです。

9

ページ番号です。

このページは説明のために作成したもので、実際のページとは異なります。

本ガイドの表記

本文中では、OS名称を略記しています。
Windows® XPの正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemおよびMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemです。
Windows® XP Professional x64の正式名称は、Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2003の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 operating systemです。
Windows Server® 2003 x64 Editionの正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating systemです。
Windows Server® 2008の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 operating systemです。
Windows Server® 2008 R2の正式名称は、Microsoft® Windows Server® 2008 R2 operating systemです。
Windows Vista® の正式名称は、Microsoft® Windows Vista® operating systemです。
Windows® 7の正式名称は、Microsoft® Windows® 7 operating systemです。

マークについて

注意	本製品をお使いになるにあたって、守っていただきたいことがらを説明しています。
補足	本製品の操作手順に関する補足情報を説明しています。
⇒XXXページ 「XXX」	参照先を記載しています。（XXXはページ、参照先）
「XXX」	ユーザーズガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	かんたん設置ガイドの参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
「XXX」	ユーザーズガイド ネットワーク知識編の参照先を記載しています。（XXXはタイトル）
<XXX>	操作パネル上のボタンを表しています。（XXXはボタン名）
「XXX」	コンピューターの画面や液晶ディスプレイに表示される項目や入力文字などを表しています。（XXXは項目名や入力文字）

編集ならびに出版における通告

本ガイドならびに本製品の仕様は予告なく変更されることがあります。
ブラザー工業株式会社は、本ガイドに掲載された仕様ならびに資料を予告なしに変更する権利を有します。また提示されている資料に依拠したため生じた損害（間接的損害を含む）に対しては、出版物に含まれる誤植その他の誤りを含め、一切の責任を負いません。

はじめに

概要

本製品のネットワークインターフェイスを利用してLANまたはWANに接続し、ネットワーク上のコンピューターから本製品で原稿の印刷ができます。
本ガイドは、本製品をネットワーク上で使用するために必要な設定方法について説明しています。

次の表では、各動作環境でサポートするネットワークの機能と接続について示しています。

オペレーティングシステム（OS）	Windows® 2000 Windows® XP Windows® XP Professional x64 Edition Windows Vista® Windows® 7	Windows Server® 2003 Windows Server® 2003 x64 Edition Windows Server® 2008 Windows Server® 2008 R2	Mac OS X 10.4.11以降
印刷	○	○	○
BRAdmin Light	○	○	○
BRAdmin Professional※1	○	○	
ウェブブラウザー	○	○	○
ステータスモニター※2	○	○	○
オートマチックドライバーインストーラー	○	○	
Vertical Pairing※3	○		

※1 BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてください。
※2 ステータスモニターについては、⇒ユーザーズガイドを参照してください。
※3 Windows® 7のみ（詳しくは、⇒ユーザーズガイド ネットワーク知識編を参照してください。）

特長と機能

セキュリティ機能

本製品は、最新のネットワークセキュリティと暗号化プロトコルに対応しています。
詳しくは、⇒65ページ「セキュリティ機能」を参照してください。

セキュリティ機能ロック2.0

ウェブブラウザー使用して、ユーザーごとにできる機能を制限することができます。
詳しくは、⇒54ページ「セキュリティ機能ロック2.0」を参照してください。

印刷ログ機能

本製品の印刷履歴を、CIFS※接続を経由したネットワークサーバーに保存できます。各印刷ジョブのID、種類、ジョブの名前、ユーザー名、日付、時間、印刷されたページ、カラーページの数を記録することができます。標準ウェブブラウザーを使用して、設定をすることができます。
詳しくは、⇒60ページ「印刷ログ機能設定について」を参照してください。

※ CIFSとは、Common Internet File System（共通インターネットファイルシステム）プロトコルの略で、TCP/IPを利用し、ネットワーク上のコンピューターからイントラネット、またはインターネット経由でファイルを共有することができます。

1章

ネットワークの設定

概要

ネットワーク環境で本製品を使用する前に、TCP/IPの設定をする必要があります。
この章では、TCP/IPプロトコルを使用したネットワーク印刷をするために必要な基本手順について説明します。

本製品をネットワークに接続するには、付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用することをおすすめします。かんたん設置ガイドの手順に従ってプリンタードライバーやソフトウェアのインストールを進めると、簡単に本製品をネットワークに接続することができます。

補足
付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用したくない場合、または付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーやブラザーソフトウェアを使用できない場合は、本製品の操作パネルを使用してネットワークの設定を変更することができます。詳しくは、⇒41ページを参照してください。

ネットワークを設定するには、次の方法があります。

操作パネルを使用する

本製品の操作パネルを使用して、ネットワーク設定のリセット、プリンター設定一覧の印刷、TCP/IPの設定ができます。詳しくは、⇒41ページを参照してください。

BRAdmin Lightで設定する

BRAdmin Lightは、ネットワークに接続されている本製品の初期設定用ユーティリティソフトです。ネットワーク上の本製品の検索やステータス表示、IPアドレスなどのネットワークの基本設定が可能です。
BRAdmin Lightは、Windows® 2000/XP、Windows Vista®、Windows® 7、Windows Server® 2003/2008、Mac OS X 10.4.11以降のコンピューターで利用できます。Windows®をご使用の場合は、本製品に付属の かんたん設置ガイドを参照し、BRAdmin Light をインストールしてください。Macintosh をご使用の場合は、プリンタードライバーをインストールすると、自動的にBRAdmin Lightもインストールされます。すでにプリンタードライバーをインストールしている場合は、再度インストールする必要はありません。

補足
- TCP/IP ネットワークで接続された本製品を自動的に検索し、IP アドレスなどのネットワーク設定を変更できるので、ネットワーク管理が簡単に行えるようになります。
- さらに高度なプリンター管理を必要とする場合は、BRAdmin Professional（Windows®版のみ）をご利用ください。BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））よりダウンロードしてご使用ください。

BRAdmin Light（Windows®版）をインストールする

1 付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM をコンピューターの CD-ROM ドライブにセットする

2 ［その他のインストール］をクリックする



3 ［BRAdmin Light］をクリックし、画面の指示に従ってインストールする



補足

アンチウィルスソフトのファイアウォール機能が設定されている場合、BRAdmin Lightの「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的に無効にしてください。

BRAdmin Lightでの設定方法

注意

■BRAdmin Lightは付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内に収録されています。

■さらに高度なプリンター管理を必要とされる場合は、BRAdmin Professional ユーティリティ（Windows® 版のみ）をご利用ください。
BRAdmin Professionalはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））で提供しております。

■BRAdmin Light を操作するコンピューターで、「ファイアウォール」を有効にしている場合は、BRAdmin Light の「稼動中のデバイスの検索」機能が利用できません。利用する場合は、一時的にファイアウォールを無効に設定してください。

1 Windows® は、［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［BRAdmin Light］－［BRAdmin Light］の順に選択する

BRAdmin Light が起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

Macintosh は、デスクトップ上の［Macintosh HD］から、［ライブラリ］－［Printers］－［Brother］－［Utilities］－［BRAdmin Light.jar］の順に選択する

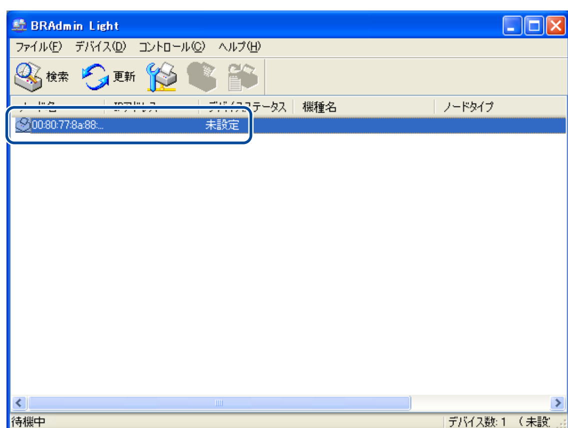
BRAdmin Light が起動し、新しいデバイスを自動的に検索します。

補足

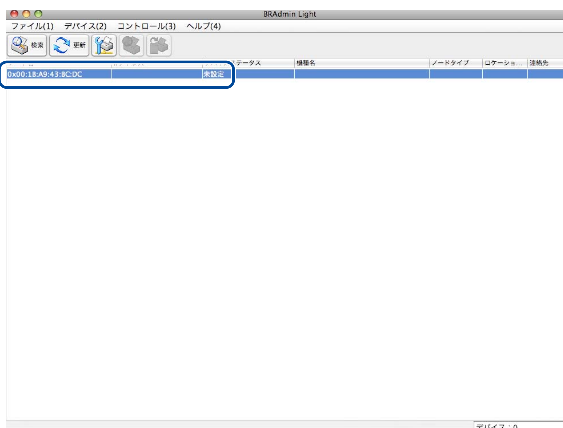
Macintoshの場合BRAdmin Lightは、ドライバーをインストールすると自動的にインストールされます。

2 ［デバイスステータス］が「未設定」となっている本製品をダブルクリックする

Windows®



Macintosh



注意

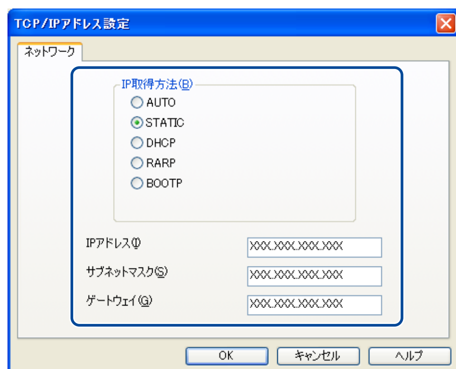
ネットワークインターフェイスがすでに設定されている場合やIPアドレスの自動設定機能によりIPアドレスが割り当て済みの場合には、デバイスステータスに「未設定」とは表示されません。
その場合は、設定を変更せずに本製品を利用することをおすすめします。

補足

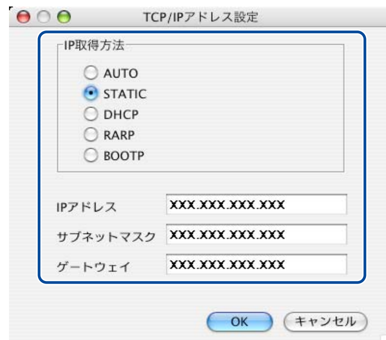
- 現在設定されているノード名やMACアドレスを調べるときは、「ネットワーク設定リスト」を印刷します。
  詳しくは⇒47ページを参照してください。
  お買い上げ時のノード名は、有線 LAN の場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線 LAN の場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”となっています。（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）
  「未設定」と表示されていないデバイスに設定するときに、パスワードを設定している場合は、パスワードの入力が必要です。（本製品のお買い上げ時のパスワードは“access”です。）
- MACアドレスは操作パネルからでも調べることができます。
  詳しくは、⇒40ページ「操作パネルで設定する」を参照してください。

3 「IP 取得方法」から［STATIC］を選択し、［IP アドレス］［サブネットマスク］［ゲートウェイ］を入力する

Windows®



Macintosh



4 ［OK］をクリックする

本製品に IP アドレスが正しく設定されると、ウインドーにノード名およびプリンター名が表示されます。

補足

BRAdmin Lightを使用せずにIPアドレスを設定するときは以下の方法でもIPアドレスの設定ができます。

- 操作パネルで設定する場合は⇒42ページを参照してください。
- DHCP、RARP、BOOTP を使用する場合は、⇒ 42 ページ「IP 取得方法」、または⇒ユーザーズガイド ネットワーク知識編を参照してください。

その他の管理ユーティリティ

ウェブブラウザーを使用する

HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用してネットワークに接続されている本製品の管理ができます。コンピューターにインストールされている標準ウェブブラウザーを使用して、ネットワーク上の本製品のステータス情報を取得し、本製品およびネットワーク設定を変更することができます。
詳しくは⇒50ページを参照してください。

BRAdmin Professionalを使用する（Windows®のみ）

BRAdmin Professionalは、ネットワークに接続されている本製品の管理をするためのユーティリティです。ネットワーク上の本製品を検索し、ウインドー上でデバイスの状態を閲覧できます。各デバイスは、状態によって色分けされます。ネットワーク上のWindows®システムが稼動するコンピューターから本製品のネットワークファームウェアをアップデートしたり、ネットワーク設定を変更したりすることができます。また、ネットワーク上の本製品の使用状況を記録し、HTML、CSV、TXT、SQL形式でログデータをエクスポートすることができます。クライアントコンピューターに接続した本製品を管理する場合は、クライアントコンピューターに BRPrint Auditor ソフトウェアをインストールしてください。BRAdmin ProfessionalからUSBを経由してクライアントコンピューターに接続している本製品を管理することができます。
詳しい情報とダウンロードについては、次のURLを参照してください。

　サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））

BRPrint Auditorソフトウェア（Windows®のみ）

BRPrint Auditorソフトウェアは、USBでローカルに接続された機器をBRAdmin Professionalで管理できるようにします。USB を経由してクライアントコンピューターに接続された機器の情報を収集します。収集した情報はネットワーク上のBRAdmin Professionalが稼動している他のコンピューターで表示することができます。これによって管理者がページカウントやトナー、ドラムの状態、ファームウェアのバージョンなどの項目を確認することができます。
ブラザーネットワーク管理アプリケーションへの通知に加え、使用状況やステータス情報を CSV または XML ファイル形式で、あらかじめ指定したEメールアドレスに直接Eメールを送信することもできます。（SMTPメールサポートが必要です。）
また、Eメールによる警告やエラー状態の通知にも対応しています。

補足

- 情報を取得したい本製品と接続されているクライアントコンピューターに、BRPrint Auditor ソフトウェアをインストールしてください。
- BRAdmin Professionalがインストールされているコンピューターにはインストールしないでください。

2章

無線LANの設定

無線LAN設定について

概要

本製品を無線LANに接続して使用する場合は、かんたん設置ガイドまたは⇒24ページ「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」に記載されている操作パネルの「ネットワーク」設定メニューから無線接続ウィザードを使用する方法をおすすめします。本製品をお使いの無線LANに簡単に接続することができます。
無線LAN設定とその構成方法などについてはこの章の各項目を参照してください。
TCP/IPの設定については⇒10ページ「BRAdmin Lightで設定する」を参照してください。
プリンタードライバーやソフトウェアのインストールに関しては、かんたん設置ガイドを参照してください。

注意

- ■本製品を無線LANアクセスポイント（または無線LAN対応のコンピューター）の近くに設置してください。
- ■本製品の近くに、微弱な電波を発する電気製品（特に電子レンジやデジタルコードレス電話）を置かないでください。
- ■本製品と無線 LAN アクセスポイントの間に、金属、アルミサッシ、鉄筋コンクリート壁があると、接続しにくくなる場合があります。
- ■環境によっては、有線 LAN 接続や USB 接続と比べて、通信速度が劣る場合があります。写真などの大きなデータを印刷する場合は、有線LANまたはUSB接続で印刷することをおすすめします。
- ■本製品は有線 LAN と無線 LAN の両方で使用できますが、同時に使用することはできません。どちらか一方を選択する必要があります。
- ■無線 LAN を設定するには、お使いの無線 LAN の情報が必要です。SSID、ESSID とネットワークキーを確認してください。また、エンタープライズモードでお使いの場合は、ユーザー IDとパスワードを確認してください。

無線LAN設定の流れ

インフラストラクチャモードの場合

1 ネットワーク環境を確認します。⇒ 19ページ

インフラストラクチャモード
無線LANアクセスポイントとコンピューターが接続されている

2 無線 LAN の設定方法を確認します。⇒ 20ページ

- 無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用
- 操作パネルから無線接続ウィザード※1を使用
- 
  ブラザーインストーラーを使用
  → 無線LANの簡単設定、一時的にUSB※1、またはLANケーブル※1を使用
- WPS※2のPIN方式を使用

3 本製品の無線 LAN 設定をします。

本製品の無線LANを設定する			
（かんたん設置ガイド参照）	⇒24ページ	⇒32ページ	⇒30ページ



ドライバーおよびソフトウェアをインストールする（かんたん設置ガイド参照）

※1 IEEE802.1x認証方式をサポートしています。
※2 Wi-Fi Protected Setup

OK! **無線 LAN 設定とドライバーおよびソフトウェアのインストールが完了です。**

アドホックモードの場合

1 ネットワーク環境を確認します。⇒ 19ページ

アドホックモード
無線LANアクセスポイントなしで無線通信可能なコンピューターが接続されている

2 無線 LAN の設定方法を確認します。⇒ 20ページ

操作パネルから無線接続ウィザードを使用	ブラザーインストーラーを使用



3 本製品の無線 LAN 設定をします。

本製品の無線LANを設定する

⇒24ページ	⇒32ページ



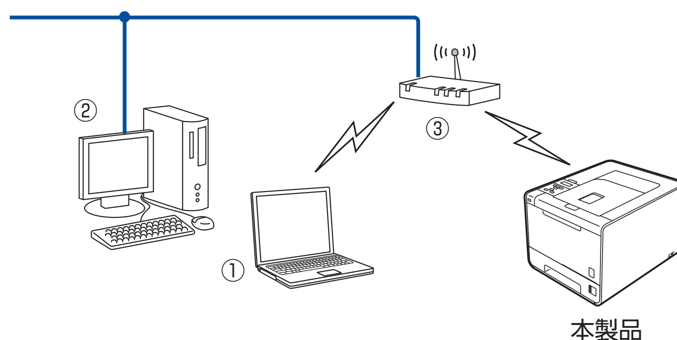
ドライバーおよびソフトウェアをインストールする（かんたん設置ガイド参照）

OK! 無線 LAN 設定とドライバーおよびソフトウェアのインストールが完了です。

ネットワーク環境を確認する

ネットワーク上の無線LANアクセスポイントとコンピューターが接続されている場合（インフラストラクチャモード）

インフラストラクチャモードは、各無線LAN端末が無線LANアクセスポイントを経由することによって、データ通信を行う通信方法です。無線LANアクセスポイントは、有線LANにも機能します。本製品をインフラストラクチャモードに設定している場合は、印刷データを送信するすべての印刷ジョブを、無線LANアクセスポイントを経由してから受け取ります。

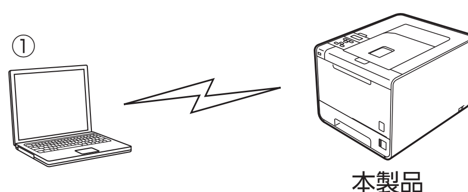


①無線LANで無線LANアクセスポイントに接続されているコンピューター
②有線LANで無線LANアクセスポイントに接続されているコンピューター
③無線LANアクセスポイント※

※ お使いのコンピューターが Intel® MWT（My WiFi Technology）に対応している場合は、コンピューターを WPS（Wi-Fi Protected Setup）対応のアクセスポイントとして使用することができます。

ネットワーク上に無線LANアクセスポイントがなく、無線通信可能なコンピューターが接続されている場合（アドホックモード）

アドホックモードのネットワーク（ピアツーピアネットワークともいいます）では、無線LANアクセスポイントが存在しません。それぞれの無線LAN機器は個別に直接通信します。本製品をアドホックモードに設定している場合は、印刷データを送信するコンピューターからすべての印刷ジョブを直接受け取ります。



①無線LAN対応コンピューター

無線LAN設定の方法を確認する

本製品の無線LAN設定をする場合は、次の4つの方法があります。

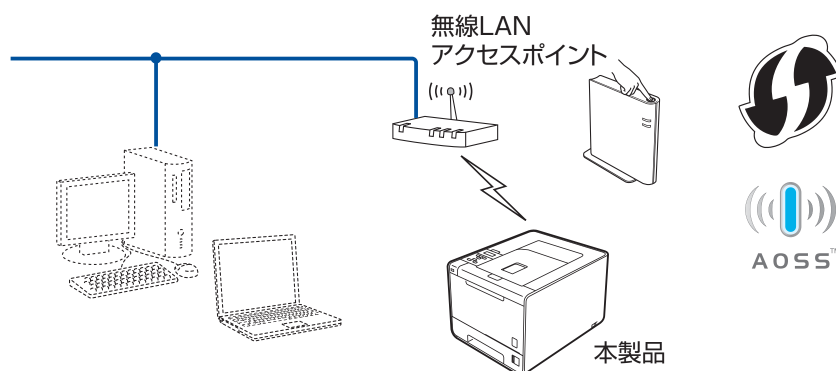
- 無線LANアクセスポイントの簡単設定（AOSS™、WPS※1のPBC※2方式）を使用する
  （無線LANアクセスポイントの簡単設定は、かんたん設置ガイドを参照してください。）
- 本製品の操作パネルから手動で無線LAN設定をする
- 本製品に付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用する
- WPS※1のPIN※3方式を使用する

※1 Wi-Fi Protected Setup
※2 Push Button Configuration
※3 Personal Identification Number（個人暗証番号）

設定手順はご使用のネットワーク環境によって異なります。

操作パネルと無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する（インフラストラクチャモードのみ）

本製品を接続する無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS（PBC※方式）のどちらかに対応している場合は、操作パネルから無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用して、自動で本製品の無線LAN設定ができます。
詳しくは、⇒23ページ「操作パネルと無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する」を参照してください。



※ Push Button Configuration

操作パネルから手動で無線LAN設定をする

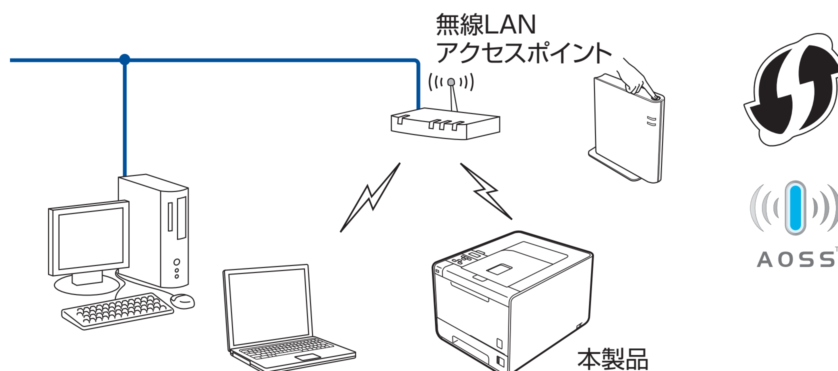
操作パネルから無線接続ウィザードを使用して、本製品の無線LAN設定をすることができます。
インストールを始める前にお使いの無線LAN環境を確認してください。詳しくは、⇒24ページ「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」を参照してください。

ブラザーインストーラーを使用する

付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内のブラザーインストーラーを使用して、本製品の無線LAN設定をすることもできます。このインストーラーを使用すると、画面の指示に従って操作するだけで本製品を無線LANに簡単に接続することができます。インストールを始める前にお使いの無線LAN環境を確認してください。
詳しくは、⇒32ページ「ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する」を参照してください。

● 無線 LAN アクセスポイントの簡単設定を使用して自動で無線 LAN 設定をする（インフラストラクチャモードのみ）

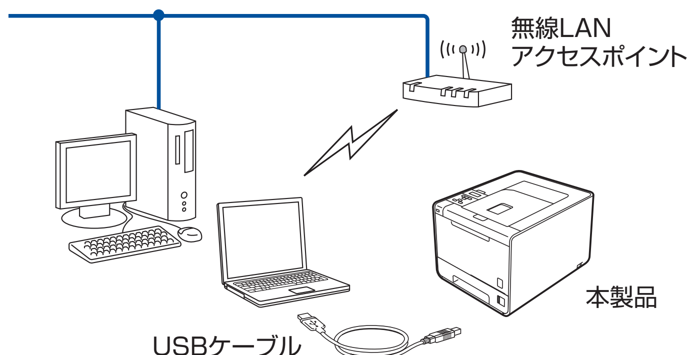
本製品に接続する無線LANアクセスポイントがAOSS™、WPS（PBC※方式）のどちらかに対応している場合に、無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用して、本製品の無線LAN設定をします。



※ Push Button Configuration

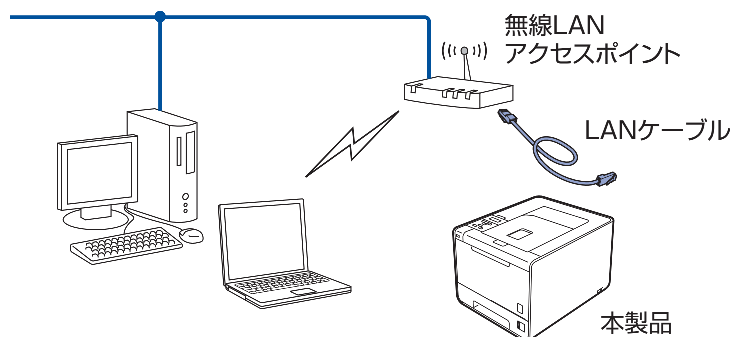
● USB ケーブルを使用して手動で無線 LAN を設定する（インフラストラクチャモードのみ）

ネットワーク上のコンピューターと本製品を一時的にUSBケーブルを使用して接続し、本製品の無線LAN設定をします。



● LAN ケーブルを使用して手動で無線 LAN 設定をする（インフラストラクチャモードのみ）

無線LANアクセスポイントと本製品を一時的にLANケーブルを使用して接続し、本製品の無線LAN設定をします。
無線LANアクセスポイントと同じネットワーク上のコンピューターから本製品を遠隔設定することができます。

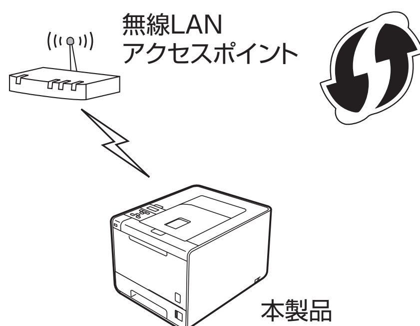


WPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式を使用する（インフラストラクチャモードのみ）

本製品を接続する無線LANアクセスポイントがWPSに対応している場合は、WPSのPIN※方式を使用して本製品の無線LAN設定をすることもできます。詳しくは、⇒30ページ「WPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式を使用する」を参照してください。

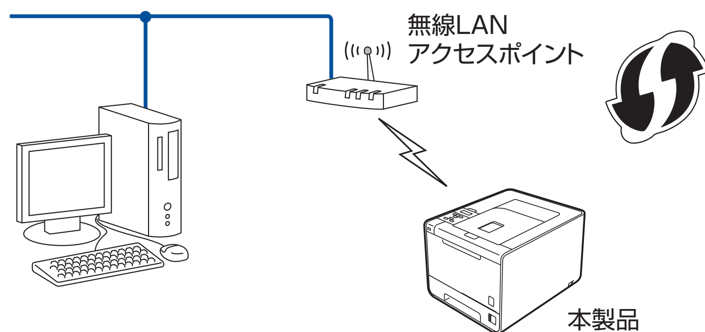
※ Personal Identification Number（個人暗証番号）

● 無線 LAN アクセスポイントをレジストラー※として使用する場合の接続



※ レジストラーとは無線LANの登録管理機器です。

● コンピューターからなど別の機器をレジストラー※として使用する場合の接続



※ レジストラーとは無線LANの登録管理機器です。

操作パネルと無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する

無線LANアクセスポイントがAOSS™、またはWPS（Wi-Fi Protected Setup）（PBC※方式）のどちらかに対応している場合は、コンピューターを使用しないで、簡単に本製品の無線LAN設定ができます。
操作パネルの「WPS/AOSS」設定メニューから設定し、無線LANアクセスポイントが簡単設定方式のどのモード（AOSS™、またはWPS）を使用しているかを自動検出します。
無線LANアクセスポイントと本製品のボタンを押すと、無線LAN設定およびセキュリティ設定が行われます。無線LANアクセスポイントの簡単設定の操作手順については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
本機能については、かんたん設置ガイドを参照してください。
※ Push Button Configuration

操作パネルから手動で無線LAN設定をする

本製品の操作パネルからウィザード形式で、SSID、認証方式、暗号化方式、ネットワークキーを設定します。
操作パネルの詳しい使い方については、⇒ユーザーズガイドを参照してください。
操作パネルから無線LAN設定するには、次の方法があります。

● パーソナルモードで設定する

例えば、個人宅やSOHOなどの小規模な無線LANで、IEEE802.1x認証方式をサポートしていない無線LAN上で本製品を設定する場合は、下記の無線LANの環境に応じて設定してください。

- すでに SSID とネットワークキーが設定されている無線 LAN に本製品を接続する場合は、かんたん設置ガイドを参照してください。
- 無線LANアクセスポイントがSSIDを出力しないように設定されている場合は、⇒24ページ「パーソナルモードで設定する」を参照してください。

● エンタープライズモードで設定する

例えば、大規模な企業などの大規模な無線LANで、IEEE802.1x認証方式をサポートしている無線LAN上で本製品を設定する場合は、⇒27ページ「エンタープライズモードで設定する」を参照してください。

注意

■本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。

■本製品の無線 LAN 設定がすでに設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、⇒ 45 ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

パーソナルモードで設定する

手動で設定するには、お使いの無線LANの情報が必要です。まず、無線LANの設定内容を確認し、記入してください。

SSID

接続モード	認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
インフラストラクチャ	オープンシステム認証	なし	―
		WEP	
	共有キー認証	WEP	
	WPA/WPA2-PSK※1	AES	
		TKIP※2	
アドホック	オープンシステム認証	なし	―
		WEP	

※1　WPA/WPA2-PSKは、Wi-Fiが提唱する事前共有キーを使用した認証方式です。TKIPやAESのネットワークキーを使用し、本製品をアクセスポイントに接続します。
WPA2-PSK(AES)とWPA-PSK(TKIP/AES)は、半角8～63文字以内のネットワークキーを使用して認証を行います。
※2　WPA-PSKのみ対応しています。

例：

SSID
HELLO

接続モード	認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
インフラストラクチャ	WPA2-PSK	AES	12345678

補足

WEPキーを使用した場合、本製品は最初に使用したWEPキーのみをサポートします。複数のWEPキーを使用しているルーターの場合は、入力したキーが最初のWEPキーとして使用されます。

1 <+> または <-> を押して「ﾈｯﾄﾜｰｸ」を選択し、<OK> を押す

2 <+> または <-> を押して「ﾑｾﾝ LAN」を選択し、<OK> を押す

3 <+> または <-> を押して「ｾﾂｿﾞｸ ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」を選択し、<OK> を押す

```
ﾑｾﾝLAN
ｾﾂｿﾞｸ ｳｲｻﾞｰﾄﾞ
```

4 「ﾑｾﾝ LAN ﾕｳｺｳ?」が表示されたら、<+> を押す

- 無線LANの設定ウィザードが起動し、本製品から接続できる無線LANが自動的に検索されます。
- 無線LANの設定ウィザードをキャンセルしたい場合は、<Cancel>を押してください。

5 利用可能な SSID のリストが表示されたら、<+> または <-> を押して「New SSID」を選択し、<OK> を押す

6 SSID を入力し、<OK> を押す

SSID の入力方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。

```
SSID:
XXXXX
```

7 <+> または <-> を押して「ｱﾄﾞﾎｯｸ」、「ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ」のどちらかを選択し、<OK> を押す

- 「ｱﾄﾞﾎｯｸ」を選択した場合は、手順9に進みます。
- 「ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ」を選択した場合は手順8に進みます。

8 <+> または <-> を押して認証方式を選択し、<OK> を押す

- 「ｵｰﾌﾟﾝｼｽﾃﾑ ﾆﾝｼｮｳ」を選択した場合は、手順9に進みます。
- 「ｷｮｳﾕｳｷｰ ﾆﾝｼｮｳ」を選択した場合は、手順10に進みます。
- 「WPA/WPA2-PSK」を選択した場合は、手順12に進みます。

9 <+> または <-> を押して暗号化方式の「ﾅｼ」、「WEP」のどちらかを選択し、<OK> を押す

- 「ﾅｼ」を選択した場合は、手順14に進みます。
- 「WEP」を選択した場合は、手順10に進みます。

10 <+> または <-> を押して使用する WEP キー（ネットワークキー）を選択し、<OK> を押す

- 何も表示されていないWEPキーを選択した場合は、手順11に進みます。
- すでにWEPキーが設定されている場合は、「****」が表示されます。
- 「****」が表示されているWEPキーを選択した場合、WEPキーを変更するときは、<+>または<->を押して「ﾍﾝｺｳ」を選択し、<OK>を押して手順11に進みます。
  WEPキーを変更しないときは、<+>または<->を押して「ﾍﾝｺｳｼﾅｲ」を選択し、<OK>を押して手順14に進みます。

11 WEP キー（ネットワークキー）を入力し、<OK> を押して、手順 14 へ進む

ﾈｯﾄﾜｰｸｷｰ
****

- 設定をする前に確認したWEPキーを入力します。
  ⇒24ページの表を参照してください。
- 入力方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。

12 <+> または <-> を押して暗号化方式の「TKIP」、「AES」のどちらかを選択し、<OK> を押す

13 WPA キー（ネットワークキー）を入力し、<OK> を押す

ﾈｯﾄﾜｰｸｷｰ
****

- 設定をする前に確認したWPAキーを入力します。
  ⇒24ページの表を参照してください。
- 入力方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。

14 設定を確認し、<+> または <-> を押して「ﾊｲ」を選択し、<OK> を押す

- 「ﾊｲ」を選択した場合は、手順15に進みます。
- 設定内容をキャンセルしたい場合は、「ｲｲｴ」を選択し、手順5からやり直してください。

15 本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続される

- 正常に接続されると、液晶ディスプレイに「ｾﾂｿﾞｸ　ｾｲｺｳ　ｲﾝｻﾂﾁｭｳ」と表示され、WLANレポート（無線LANレポート）で、接続結果が印刷されます。
- 接続に失敗した場合は、印刷されたWLANレポート（無線LANレポート）のエラーコードを確認してください。
  エラーコードについては、かんたん設置ガイド「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

OK! **無線 LAN 設定は完了しました。**

続いて本製品に付属のドライバー & ソフトウェア CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバーおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

エンタープライズモードで設定する

手動で設定するには、お使いの無線LANの情報が必要です。まず、無線LANの設定内容を確認し、記入してください。

SSID

接続モード	認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
インフラストラクチャ	LEAP	CKIP		
	EAP-FAST/NONE	AES		
		TKIP		
	EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES		
		TKIP		
	EAP-FAST/GTC	AES		
		TKIP		
	PEAP/MS-CHAPv2	AES		
		TKIP		
	PEAP/GTC	AES		
		TKIP		
	EAP-TTLS/CHAP	AES		
		TKIP		
	EAP-TTLS/MS-CHAP	AES		
		TKIP		
	EAP-TTLS/MS-CHAPv2	AES		
		TKIP		
	EAP-TTLS/PAP	AES		
		TKIP		
	EAP-TLS	AES		—
		TKIP		—

例：

SSID
HELLO

接続モード	認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
インフラストラクチャ	EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES	Brother	12345678

補足

- EAP-TLS　認証方式を使用して本製品を設定する場合は、設定をする前に証明書をインストールする必要があります。複数の証明書がある場合は、使用する証明書の名称を控えておいてください。証明書をインストールするには、⇒80ページ「証明書を使って安全に管理する」を参照してください。
- サーバー証明書のコモンネームを使用して本製品を確認する場合は、設定をする前にコモンネームを控えておいてください。サーバー証明書のコモンネームについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 <+> または <-> を押して「ﾈｯﾄﾜｰｸ」を選択し、<OK> を押す

2 <+> または <-> を押して「ﾑｾﾝ LAN」を選択し、<OK> を押す

3 <+> または <-> を押して「ｾﾂｿﾞｸ ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」を選択し、<OK> を押す

ﾑｾﾝLAN
ｾﾂｿﾞｸ ｳｲｻﾞｰﾄﾞ

4 「ﾑｾﾝ LAN ﾕｳｺｳ?」が表示されたら、<+> を押す

- 無線LANの設定ウィザードが起動し、本製品から接続できる無線LANが自動的に検索されます。
- 無線LANの設定ウィザードをキャンセルしたい場合は、<Cancel>を押してください。

5 利用可能な SSID のリストが表示される

- SSIDをメモしてください。
- 複数のネットワークが検索されたら、<+>または<->を押して使用するネットワークを選択し<OK>を押し、手順9に進みます。
- 無線LANアクセスポイントからSSID信号が送信されない場合は、手動でSSIDを入力するために、手順6に進みます。

6 <+> または <-> を押して「New SSID」を選択し、<OK> を押す

7 SSID を入力し、<OK> を押す

SSID の入力方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。

SSID:
XXXXX

8 <+> または <-> を押して「ｲﾝﾌﾗｽﾄﾗｸﾁｬ」を選択し、<OK> を押す

9 <+> または <-> を押して認証方式を選択し、<OK> を押す

- 「LEAP」を選択した場合は、手順15に進みます。
- 「EAP-FAST」を選択した場合は、手順10に進みます。
- 「PEAP」を選択した場合は、手順10に進みます。
- 「EAP-TTLS」を選択した場合は、手順10に進みます。
- 「EAP-TLS」を選択した場合は、手順11に進みます。

10 <+> または <-> を押して内部認証方式の「NONE」、「CHAP」、「MS－CHAP」、「MS－CHAPv 2」、「GTC」、「PAP」のいずれかを選択し、<OK> を押す

補足

認証方式により、内部認証方式は異なります。

11 <+> または <-> を押して暗号化方式の「TKIP」、「AES」のどちらかを選択し、<OK> を押す

- 認証方式がEAP-TLSの場合は、手順12へ進みます。
- その他の認証方式の場合は、手順13へ進みます。

12 利用可能な証明書のリストが表示されたら、<+> または <-> を押して証明書を選択する

13 <+> または <-> を押して証明方式の「ｹﾝｼｮｳｼﾅｲ」、「CA ｼｮｳﾒｲｼｮ」、「CA ＋ ｻｰﾊﾞｰ ID」、のいずれかを選択し、<OK> を押す

- 「CA ＋ ｻｰﾊﾞｰ ID」を選択した場合は、手順14へ進みます。
- その他の証明方式を選んだ場合は、手順15へ進みます。

補足

本製品に証明書がインポートされていない場合は、「ｹﾝｼｮｳｼﾅｲ」が表示されます。
証明書のインポートについては、⇒91ページ「証明書と秘密鍵をインポート/エクスポートする」を参照してください。

14 サーバー ID を入力し、<OK> を押す

入力方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。

```
ｻｰﾊﾞｰID
XXXXX
```

15 ユーザー ID を入力し、<OK> を押す

- 設定をする前に確認したユーザー IDを入力します。
  ⇒27ページの表を参照してください。
- 入力方法については、かんたん設置ガイドを参照してください。
- 認証方式がEAP-TLSの場合は、手順17へ進みます。
- その他の認証方式の場合は、手順16へ進みます。

```
ﾕｰｻﾞｰID:
XXXXX
```

16 パスワードを入力し、<OK> を押す

設定をする前に確認したパスワードを入力します。
⇒27 ページの表を参照してください。

```
ﾕｰｻﾞｰﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:
XXXXX
```

17 設定を確認し、<+> または <-> を押して「ﾊｲ」を選択し、<OK> を押す

- 「ﾊｲ」を選択した場合は、手順18に進みます。
- 設定内容をキャンセルしたい場合は、「ｲｲｴ」を選択し、手順5からやり直してください。

18 本製品と接続先の機器（無線 LAN アクセスポイントなど）が無線で接続される

- 正常に接続されると、液晶ディスプレイに「ｾﾂｿﾞｸ ｾｲｺｳ ｲﾝｻﾂﾁｭｳ」と表示され、WLANレポート（無線LANレポート）で、接続結果が印刷されます。
- 接続に失敗した場合は、印刷されたWLANレポート（無線LANレポート）のエラーコードを確認してください。
  エラーコードについては、かんたん設置ガイド「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

OK! 無線 LAN 設定は完了しました。

続いて本製品に付属のドライバー ＆ ソフトウェア CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバーおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

WPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式を使用する

無線LANアクセスポイントがWPS（Wi-Fi Protected Setup）（PIN※方式）に対応している場合は、PIN方式を利用して簡単に本製品の無線LAN設定ができます。PIN（個人暗証番号）方式とは、Wi-Fiアライアンスが開発した接続方法のひとつです。登録者（本製品）が作成するPINをレジストラー（無線LANの登録管理機器）に入力すれば、無線LAN設定およびセキュリティ設定が行われます。
無線LANアクセスポイントのWPSの操作手順については、無線LANアクセスポイントの取扱説明書を参照してください。
※ Personal Identification Number（個人暗証番号）

補足

● WPSに対応している無線LANアクセスポイントには、次のマークが付いています。



注意

■ 本製品を無線 LAN に接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線 LAN の設定を確認してください。

■ 本製品の無線 LAN 設定がすでに設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、⇒ 45 ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

1 **電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする**

2 **<+> または <-> を押して「ﾈｯﾄﾜｰｸ」を選択し、<OK> を押す**

3 **<+> または <-> を押して「ﾑｾﾝ LAN」を選択し、<OK> を押す**

4 **<+> または <-> を押して「WPS w/PIN Code」を選択し、<OK> を押す**

```
ﾑｾﾝLAN
WPS w/PIN Code
```

補足

一度設定に失敗し、ネットワーク設定をリセットせずにやり直している場合など、無線 LAN 有効が「On」になっている場合は、このメッセージは表示されません。手順5へ進んでください。

5 **本製品が WPS の PIN 方式に切り替わり、8 桁の PIN（個人暗証番号）が表示され、WPS（PIN 方式）に対応している無線 LAN アクセスポイントの自動検出を行う**

```
WPSｾｯｿﾞｸﾁｭｳ
ﾊﾟｽﾜｰﾄﾞ:XXXXXXXX
```

検出は 5 分間継続して行われます。検出時間内に手順 6 を実施してください。

6 **無線 LAN アクセスポイントと同じネットワーク上にあるコンピューターからウェブブラウザーを起動する**
ウェブブラウザーの入力欄に http://XXXXX/ を入力する

[XXXXX] は、レジストラー※として使用される機器の IP アドレスです。
※ 通常は無線LANアクセスポイントがレジストラーです。

7 WPS 設定ページへ進み、手順 5 で表示された 8 桁の PIN（個人暗証番号）をレジストラーに入力し、画面の指示に従って操作する

Windows Vista®/Windows® 7 のコンピューターをレジストラーとして使用する場合は、以下の手順に従ってください。

- Windows Vista®の場合
  (1)［スタート］－［ネットワーク］の順にクリックします。
  (2)［ワイヤレスデバイスの追加］をクリックします。
  (3) 本製品を選択し、［次へ］をクリックします。
  (4) 手順5で表示されたPINを入力し、［次へ］をクリックします。
  (5) 接続するネットワークを選択し、［次へ］をクリックします。
  (6)［閉じる］をクリックします。
- Windows® 7の場合
  (1)［スタート］－［デバイスとプリンター］の順にクリックします。
  (2)［デバイスの追加］をクリックします。
  (3) 本製品を選択し、［次へ］をクリックします。
  (4) 手順5で表示されたPINを入力し、［次へ］をクリックします。
  (5) 接続するネットワークを選択し、［次へ］をクリックします。
  (6)［閉じる］をクリックします。

補足

- ●WPS 設定ページは、無線 LAN アクセスポイントのメーカーによって異なります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントに付属の取扱説明書を参照してください。
- ●Windows Vista®、または Windows® 7 のコンピューターをレジストラーとして使用するには、前もってWindows Vista®、またはWindows® 7のコンピューターに無線ネットワークプロファイルを登録してください。詳しくは、無線LANアクセスポイント、またはルーターの取扱説明書を参照してください。
- ●Windows® 7 のコンピューターをご使用の場合は、Windows® Vertical Pairing 機能を利用することができます。Windows® Vertical Pairingは、Vertical Pairingをサポートしている無線機器をWPSのPIN方式とWeb Servicesの特徴を使って、インフラストラクチャネットワークに接続するための機能です。この機能を利用することで本製品の無線設定からプリンタードライバーやソフトウェアのインストールまで一連の手順で行うことができます。詳しくは、⇒ユーザーズガイド ネットワーク知識編「Vertical Pairingを使用する(Windows® 7のみ)」を参照してください。

8 「ｾﾂｿﾞｸ　ｾｲｺｳ」と表示されるまで待つ

- 無線LANアクセスポイントとの接続に成功すると、「ｾﾂｿﾞｸ　ｾｲｺｳ」と表示され、WLANレポート（無線LANレポート）で、接続結果が印刷されます。
  これで本製品を無線LANで使用できます。
- 接続に失敗した場合は、印刷されたWLANレポート（無線LANレポート）のエラーコードを確認してください。
  エラーコードについては、かんたん設置ガイド「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。
- 「ｾﾂｿﾞｸ　ｼｯﾊﾟｲｼﾏｼﾀ」または「AP ｶﾞ　ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ」と表示された場合は、本製品は無線 LAN アクセスポイントに正常に接続されていません。手順2からやり直してください。やり直しても同じメッセージが表示される場合は、本製品のネットワーク設定をリセットし、手順2からやり直してください。
  ネットワーク設定のリセットについては⇒45ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

OK! 無線 LAN 設定は完了しました。

続いて本製品に付属のドライバー & ソフトウェア CD-ROM から、本製品を動作させるために必要なドライバーおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

3章

ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する

概要

本製品に付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROM内に収録されているブラザーインストーラーを使用して、ネットワーク環境に本製品を接続することができます。
ブラザーインストーラーを使用して無線LAN設定するには、次の方法があります。

- パーソナルモードで設定する
- エンタープライズモードで設定する

パーソナルモード、エンタープライズモードについては、⇒24ページ「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」を参照してください。

補足
操作パネルから無線LAN設定をする場合は、⇒24ページ「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」または かんたん設置ガイドを参照してください。

注意
本製品を無線LANに接続する場合は、インストール前にネットワーク管理者にお問い合わせいただき、無線LANの設定を確認してください。

無線LAN設定をする前に

パーソナルモード、またはエンタープライズモードで設定する際、お使いの無線LANの情報が必要です。まず、無線LANの設定内容を確認し、記入してください。
設定時のネットワークキー、ユーザー ID、パスワードは、上記で確認したものを入力してください。

● パーソナルモードで設定する

SSID

接続モード	認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
インフラストラクチャ	オープンシステム認証	なし	—
		WEP	
	共有キー認証	WEP	
	WPA/WPA2-PSK※1	AES	
		TKIP※2	
アドホック	オープンシステム認証	なし	—
		WEP	

※1　WPA/WPA2-PSKは、Wi-Fiが提唱する事前共有キーを使用した認証方式です。TKIPやAESのネットワークキーを使用し、本製品をアクセスポイントに接続します。
WPA2-PSK(AES)とWPA-PSK(TKIP/AES)は、半角8～63文字以内のネットワークキーを使用して認証を行います。
※2　WPA-PSKのみ対応しています。

例：

SSID
HELLO

接続モード	認証方式	暗号化方式	ネットワークキー
インフラストラクチャ	WPA2-PSK	AES	12345678

補足

WEPキーを使用した場合、本製品は最初に使用したWEPキーのみをサポートします。複数のWEPキーを使用しているルーターの場合は、入力したキーが最初のWEPキーとして使用されます。

● エンタープライズモードで設定する

SSID

接続モード	認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
インフラストラクチャ	LEAP	CKIP		
	EAP-FAST/NONE	AES		
		TKIP		
	EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES		
		TKIP		
	EAP-FAST/GTC	AES		
		TKIP		
	PEAP/MS-CHAPv2	AES		
		TKIP		
	PEAP/GTC	AES		
		TKIP		
	EAP-TTLS/CHAP	AES		
		TKIP		
	EAP-TTLS/MS-CHAP	AES		
		TKIP		
	EAP-TTLS/MS-CHAPv2	AES		
		TKIP		
	EAP-TTLS/PAP	AES		
		TKIP		
	EAP-TLS	AES		—
		TKIP		—

例：

SSID
HELLO

接続モード	認証方式	暗号化方式	ユーザー ID	パスワード
インフラストラクチャ	EAP-FAST/MS-CHAPv2	AES	Brother	12345678

補足

●EAP-TLS　認証方式を使用して本製品を設定する場合は、設定をする前に証明書をインストールする必要があります。複数の証明書がある場合は、使用する証明書の名称をメモしてください。証明書をインストールするには、⇒ 80 ページ「証明書を使って安全に管理する」を参照してください。

●サーバー証明書のコモンネームを使用して本製品を確認する場合は、設定をする前にコモンネームをメモしてください。サーバー証明書のコモンネームについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

無線LANの設定をする

注意

■本製品の無線LAN設定がすでに設定されている場合は、ネットワーク設定をリセットしてください。詳しくは、⇒45ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

■パーソナルファイアウォール（Windows® ファイアウォールなど）を有効にしている場合は、一時的にファイアウォール機能を無効にしてください。無線LANの設定が完了した後で、パーソナルファイアウォールを有効にしてください。

■設定には、一時的にLANケーブル、またはUSBケーブルが必要です。（無線LANの簡単設定を使用する場合は、不要です）

■実行中のすべてのアプリケーションソフトを終了してから、行ってください。

1 **電源コードが差し込まれていることを確認し、本製品の電源スイッチを ON にする**

2 **コンピューターの電源を入れる**

3 **本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする**

補足

Windows®の場合、画面が表示されないときは、「マイコンピュータ（コンピュータ）」から CD-ROM ドライブをダブルクリックし、［start.exe］をダブルクリックしてください。

4 Windows® は、［プリンタードライバーのインストール］をクリックする



補足

Windows Vista®の場合､｢ユーザーアカウント制御｣画面が表示されたら､［許可］をクリックしてください。
Windows® 7の場合は、［はい］をクリックしてください。

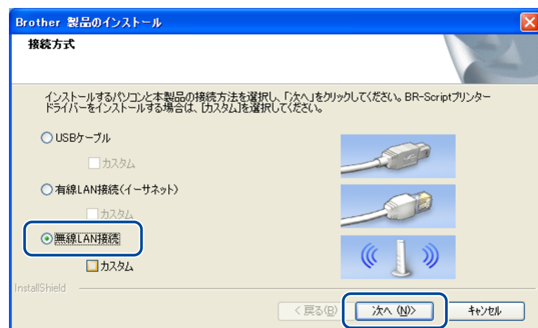
Macintosh は、［Start Here OSX］アイコンをダブルクリックする



5 ［無線 LAN 接続］選択し、［次へ］をクリックする

Windows® の場合は、手順 7 に進みます。
Macintosh の場合は、「無線 LAN の設定」画面が表示されます。［戻る］、または［キャンセル］をクリックし、手順 6 に進みます。

Windows®

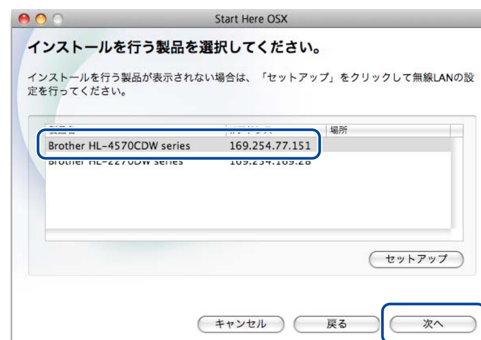


Macintosh

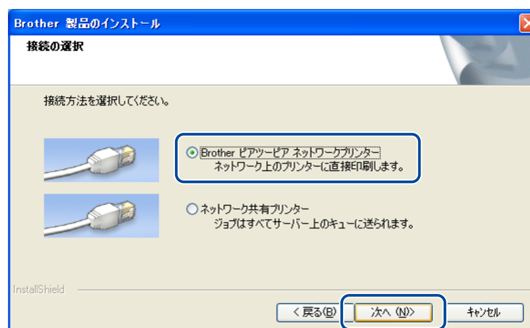


6 本製品を選択し、［次へ］をクリックする

手順 10 へ進みます。



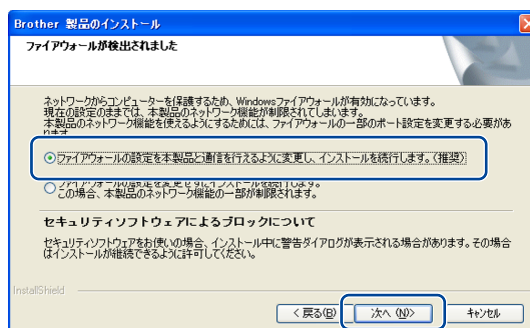
7 ［Brother ピアツーピア ネットワークプリンター］、または［ネットワーク共有プリンター］のどちらかを選択し、［次へ］をクリックする



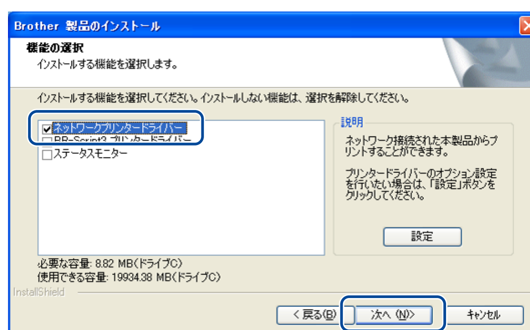
補足

- ［ネットワーク共有プリンター］を選択した場合は、本製品のキューを選択し、［OK］をクリックします。
- 本製品のネットワーク上の位置や名前が分からない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

8 ファイアウォール検出画面で、［ファイアウォールの設定を本製品と通信を行えるように変更し、インストールを続行します。（推奨）］を選択し、［次へ］をクリックする

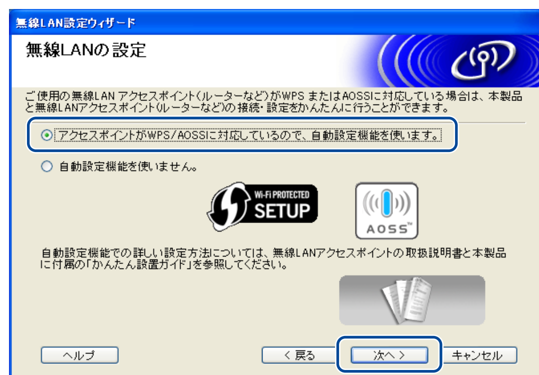


9 機能の選択画面で、［ネットワークプリンタードライバー］を選択し、［次へ］をクリックする



10 無線 LAN アクセスポイントが AOSS™、または WPS に対応していて、無線 LAN の簡単設定を使う場合は、［アクセスポイントが WPS/AOSS に対応しているので、自動設定機能を使います。］を選択し、［次へ］をクリックする
自動設定を使わない場合は、［自動設定機能を使いません。］を選択し、［次へ］をクリックする

Windows®



Macintosh



［自動設定機能を使いません。］を選択した場合、次の 4 つの方法で無線 LAN を設定できます。画面の指示に従って、無線 LAN 設定をしてください。

- 一時的にUSBケーブルを使用して設定を行います（推奨）
- 一時的にLANケーブルを使用して設定を行います
- ケーブルを使用せず、本製品の操作パネルから無線接続ウィザードを使用して設定します
- ケーブルを使用せず、アドホックモードで設定を行います。（上級ユーザー向け）

補足

アドホックモードで設定している場合

- アドホックモードで設定している場合、無線 LAN 設定に切り替わった後に、コンピューターの再起動メッセージが表示されることがあります。この場合は、コンピューターを再起動し、手順3からやり直してください。
- コンピューターの無線LAN設定を変更する
  - Windows® 7の場合
    ①［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。
    ②［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックします。
    ③［ネットワークに接続］をクリックします。
    一覧に本製品のSSIDが表示されます。
    ④［SETUP］を選択し、［接続］をクリックします。
    ⑤ ネットワークと共有センター画面で、「識別」アイコンが「不明ネットワーク」のアイコンに変わったら、［ワイヤレスネットワーク接続（SETUP)］をクリックします。
    ⑥［詳細］をクリックし、「ネットワーク接続の詳細」を確認します。
    ⑦ IPアドレスが「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更されます。
    （xxxは1～254までの数字）画面に表示されるまでに数分かかることがあります。
  - Windows Vista®の場合
    ①［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。
    ②［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックします。
    ③［ネットワークに接続］をクリックします。
    一覧に本製品のSSIDが表示されます。
    ④［SETUP］を選択し、［接続］をクリックします。
    ⑤［接続します］をクリックし、［閉じる］をクリックします。
    ⑥「ワイヤレスネットワーク接続（SETUP)」の［状態の表示］をクリックします。
    ⑦［詳細］をクリックし、「ネットワーク接続の詳細」を確認します。
    ⑧ IP アドレスが「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更されます。（xxx は 1 ～ 254 までの数字）画面に表示されるまでに数分かかることがあります。

- Windows® XP SP2以降のユーザーの場合
  ①［スタート］－［コントロールパネル］の順にクリックします。
  「コントロールパネル」画面がカテゴリ表示の場合は、［ネットワークとインターネット接続］をクリックします。
  ②［ネットワーク接続］をクリックします。
  ③［ワイヤレス　ネットワーク接続］アイコンを右クリックし、［利用できるワイヤレス　ネットワークの表示］をクリックします。
  一覧に本製品のSSIDが表示されます。
  ④［SETUP］を選択し、［接続］をクリックします。
  ⑤［ワイヤレスネットワーク接続］をクリックします。
  ⑥ IPアドレスが「0.0.0.0」から「169.254.xxx.xxx」へ変更されます。（xxxは1～254までの数字）画面に表示されるまでに数分かかることがあります。
- Macintoshの無線LAN設定を変更する
  ① メニューバーの［AirMac］アイコンをクリックします。
  ②［SETUP］を選択します。
  無線LANに正常に接続されています。

11 画面の指示に従って、無線LANの設定をする

補足

無線LAN設定に失敗した場合は、ネットワーク設定をリセットし、再度設定してください。
ネットワーク設定のリセットについては、⇒45ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

OK! 無線LAN設定は完了しました。

続いて本製品に付属のドライバー＆ソフトウェアCD-ROMから、本製品を動作させるために必要なドライバーおよびソフトウェアをインストールします。
詳しくは、かんたん設置ガイドを参照してください。

4章

操作パネルで設定する

ネットワークメニュー

操作パネルにある各種ボタンと液晶ディスプレイ（LCD）を使用して、ネットワークを設定する方法について説明します。本製品の操作パネルのボタンを利用することで、コンピューターから操作しなくてもネットワークの各設定項目を設定・変更することができます。
操作パネルの詳しい使い方については、⇒ユーザーズガイドを参照してください。

1 **<+> または <-> を押して「ﾈｯﾄﾜｰｸ」を選択し、<OK> を押す**

▼▲ﾃﾞ ｾﾝﾀｸ&OKﾎﾞ ﾀﾝ
ﾈｯﾄﾜｰｸ

2 **<+> または <-> を押して「ﾕｳｾﾝ LAN」（または「ﾑｾﾝ LAN」）を選択し、<OK> を押す**

ﾈｯﾄﾜｰｸ
ﾕｳｾﾝ LAN

このようにネットワークのメインメニューへ入ることができます。この章ではネットワークに関する設定について説明しています。

補足

一度ネットワーク上で有効な IP アドレスを本製品に割り当てた後は、お使いのウェブブラウザーからネットワークを通じてすべての設定項目を変更可能です。また、本製品に付属のドライバー＆ソフトウェア CD-ROM 内に収録されている BRAdmin Light、またはウェブブラウザーを、ご使用いただくことで同様に設定が可能です。詳しくは、⇒14ページ「その他の管理ユーティリティ」を参照してください。

TCP/IPの設定

TCP/IPを使用して印刷するには、本製品にIPアドレスとサブネットマスクを設定します。ルーターの先に本製品が接続されている場合は、ルーターのアドレス（ゲートウェイ）も設定します。

補足

本製品の初期設定は、次の通りです。
- IPアドレス：169.254.x.x（APIPA機能による自動割当）

注意

DHCP、BOOTP、RARPまたはAPIPA機能を使用しない場合は、自動的にIPアドレスを取得しないように、IPの取得方法をStatic（手動）に設定します。⇒42ページ「IP取得方法」

IP取得方法

1 <+> または <-> を押して「ﾈｯﾄﾜｰｸ」を選択し、<OK> を押す

2 <+> または <-> を押して「ﾕｳｾﾝ LAN」（または「ﾑｾﾝ LAN」）を選択し、<OK> を押す

3 <+> または <-> を押して「TCP/IP ｾｯﾃｲ」を選択し、<OK> を押す

4 <+> または <-> を押して「IP ｼｭﾄｸ ﾎｳﾎｳ」を選択し、<OK> を押す

5 <+> または <-> を押して「ｼﾞﾄﾞｳ」、「Static」、「RARP」、「BOOTP」、または「DHCP」のいずれかを選択する

お買い上げ時には「ｼﾞﾄﾞｳ」になっています。

IP ｼｭﾄｸﾎｳﾎｳ
ｼﾞﾄﾞｳ *

6 <OK> を押す

IP の取得方法の設定が登録されます。

補足

- IP取得方法を「ｼﾞﾄﾞｳ」に設定すると、「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」の順にネットワーク内のIPアドレス配布サーバーを探して、IPアドレスを取得します。これらのサーバーが見つからなかった場合は、「APIPA」機能により、IPアドレスが自動的に割り当てられます。
- IP取得方法は、BRAdmin Light、またはウェブブラウザーを使用しても変更することができます。

IPアドレス

本製品の現在のIPアドレスが表示されます。IPアドレスを変更する場合は、IP取得方法をStatic（手動）に指定してください。また、IPアドレスを手動で設定した場合は、IP取得方法は自動的にStatic（手動）になります。設定するIPアドレスについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。
Static以外のIP取得方法が選ばれている場合は、DHCP、RARPまたはBOOTPのプロトコルを使用してIPアドレスを自動的に取得します。

サブネットマスク

本製品の現在のサブネットマスクが表示されます。DHCP、RARPまたはBOOTP、APIPAを使用していない場合は、サブネットマスクを手動で入力してください。設定するサブネットマスクについてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

ゲートウェイ

本製品の現在のゲートウェイアドレスが表示されます。DHCP、RARPまたはBOOTP、APIPAを使用していない場合はアドレスを手動で指定します。ゲートウェイやルーターを使用しない場合はお買い上げ時の設定（000.000.000.000）にしておいてください。アドレスが不明な場合はネットワーク管理者へお問い合わせください。

IP設定リトライ

設定したIP取得方法でIPアドレスを取得できなかった場合に、何回再試行するかを設定します。

APIPA

IP取得方法が「Static」以外のときで、「DHCP」、「BOOTP」、「RARP」のいずれからもIPアドレスが取得できなかった場合、APIPAの設定を「On」にすると、169.254.1.0から169.254.254.255の範囲でIPアドレスが自動的に割り当てられます。「Off」に設定した場合は、IPアドレスを手動で設定してください。

IPv6

本製品は次世代インターネットプロトコルIPv6に対応しています。IPv6プロトコルを使用する場合は、「On」に設定してください。お買い上げ時は、「Off」に設定されています。IPv6 プロトコルの詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））をご覧ください。

イーサネットの設定（有線LANのみ）

イーサネットの転送速度を設定します。
この設定の変更を有効にするためには、本製品を再起動する必要があります。

注意

誤った設定をした場合、本製品にアクセスできなくなることがあります。

● Ethernet リンクモードについて

ジドウ：

100BASE-TX（全二重/半二重）、10BASE-T（全二重/半二重）モードを自動的に選択します。

100B-FD/100B-HD/10B-FD/10B-HD：

それぞれのリンクモードに固定されます。

- 100B-FD　：100BASE-TX Full Duplex
- 100B-HD　：100BASE-TX Half Duplex
- 10B-FD　：10BASE-T Full Duplex
- 10B-HD　：10BASE-T Half Duplex

有線LANの状態

有線LANをお使いの場合、現在の接続状態、通信速度を確認できます。

補足

●「ミセツゾク」が表示された場合は、再度接続の設定を確認してください。

●「ユウセンLAN　オフ」が表示された場合は、有線LANを有効にしてください。
詳しくは、⇒45ページ「有線LAN有効」を参照してください。

セットアップウィザードで設定する（無線LANのみ）

本製品の操作パネルからウィザード形式で無線LANを設定することができます。詳しくは、かんたん設置ガイド、または⇒24ページ「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」を参照してください。

AOSS™方式で設定する（無線LANのみ）

無線LANアクセスポイントがAOSS™、またはWPS（Wi-Fi Protected Setup）（PBC※方式）のどちらかに対応している場合は、コンピューターを使用しないで、簡単に本製品の無線LAN設定をすることができます。詳しくは、かんたん設置ガイド、または⇒23ページ「操作パネルと無線LANアクセスポイントの簡単設定を使用する」を参照してください。

※ Push Button Configuration

WPS（Wi-Fi Protected Setup）PIN方式で設定する（無線LANのみ）

無線LANアクセスポイントがAOSS™、またはWPS（Wi-Fi Protected Setup）（PIN※方式）に対応している場合は、PIN方式を利用して簡単に本製品の無線LAN設定をすることができます。詳しくは、⇒30ページ「WPS（Wi-Fi Protected Setup）のPIN方式を使用する」を参照してください。

※ Personal Identification Number（個人暗証番号）

無線LANの状態

無線LANをお使いの場合、次の状況を確認できます。

● **接続状態**

無線LANをお使いの場合、接続状態を表示します。

● **電波状態**

無線LANをお使いの場合、電波状態を表示します。

● **通信チャンネル**

無線LANをお使いの場合、通信チャンネル番号を表示します。

● **通信速度**

無線LANをお使いの場合、通信速度を表示します。

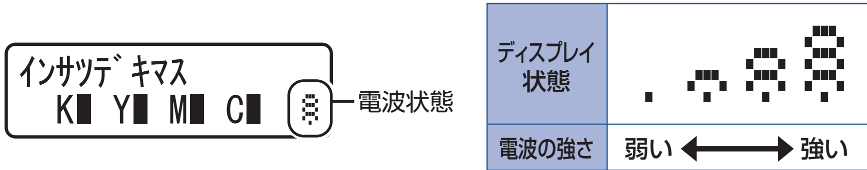
● **SSID**

無線LANをお使いの場合、SSIDを表示します。

● **通信モード**

無線LANをお使いの場合、通信モードを表示します。

また液晶ディスプレイに、本製品の電波状態が表示されます。



MACアドレス

本製品の現在のMACアドレス（イーサネットアドレス）を確認できます。MACアドレスとは、本製品のネットワークインターフェイスに割り当てられたアドレス番号です。MACアドレスの変更はできません。

ネットワーク設定のリセット

有線LAN、または無線LAN設定をお買い上げ時の設定に初期化します。
また、有線LANと無線LAN設定を同時にお買い上げ時の設定に初期化することもできます。詳しくは、⇒45ページ「ネットワーク設定のリセット」を参照してください。

有線LAN有効

本製品を有線LANに接続して使用する場合は、「On」に設定してください。

無線LAN有効

本製品を無線LANに接続して使用する場合は、「On」に設定してください。

ネットワーク設定のリセット

現在のネットワーク（有線LANおよび無線LAN）設定をすべてお買い上げ時の設定に初期化できます。

補足

- この設定では、IPアドレスやメールアドレスなど、すでに設定しているネットワークのすべての情報を初期化します。有線LANと無線LANの設定については、個別に初期化することができます。有線LAN、または無線LANの初期化については次項を参照してください。
- BRAdminアプリケーション、またはウェブブラウザーを使用してもネットワーク設定のリセットができます。詳しくは、⇒14ページ「その他の管理ユーティリティ」を参照してください。

1 **<+> または <-> を押して「ﾈｯﾄﾜｰｸ」を選択し、 <OK> を押す**

2 **<+> または <-> を押して「LAN ｾｯﾃｲ ﾘｾｯﾄ」を選択し、<OK> を押す**

3 **ネットワーク設定を初期化する場合は、<+> を押す**

- 「ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾏｽｶ?」と表示されます。
- ネットワークの設定の初期化をキャンセルしたい場合は、<->を押してください。

```
ｻｲｷﾄﾞｳ ｼﾏｽｶ?
▲ ﾊｲ ▼ ｲｲｴ
```

4 **本製品を再起動する場合は、<+> を押す**

- 「ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ」と表示され、ネットワーク設定が初期化されると本製品が数秒後に再起動します。
- 再起動しない場合は、<->を押してください。

有線LAN/無線LAN設定のリセット

現在の有線LAN設定、または無線LAN設定をすべてお買い上げ時の設定に初期化できます。

有線LAN設定の初期化

1 <+> または <-> を押して「ﾈｯﾄﾜｰｸ」を選択し、<OK> を押す

2 <+> または <-> を押して「ﾕｳｾﾝ LAN」を選択し、<OK> を押す

3 <+> または <-> を押して「ｼｮｷｾｯﾃｲ ﾆ ﾓﾄﾞｽ」を選択し、<OK> を押す

```
ﾕｳｾﾝ LAN
ｼｮｷｾｯﾃｲ ﾆ ﾓﾄﾞｽ
```

4 有線 LAN 設定を初期化する場合は、<+> を押す

- 有線LAN設定が初期化されます。
- 有線LAN設定の初期化をキャンセルしたい場合は、<->を押してください。

無線LAN設定の初期化

1 <+> または <-> を押して「ﾈｯﾄﾜｰｸ」を選択し、<OK> を押す

2 <+> または <-> を押して「ﾑｾﾝ LAN」を選択し、<OK> を押す

3 <+> または <-> を押して「ｼｮｷｾｯﾃｲ ﾆ ﾓﾄﾞｽ」を選択し、<OK> を押す

```
ﾑｾﾝLAN
ｼｮｷｾｯﾃｲ ﾆ ﾓﾄﾞｽ
```

4 無線 LAN 設定を初期化する場合は、<+> を押す

- 無線LAN設定が初期化されます。
- 無線LAN設定の初期化をキャンセルしたい場合は、<->を押してください。

ネットワーク設定リストの出力

現在のネットワークに関する設定内容を印刷できます。

補足

ノード名（NetBIOS名）：ネットワーク設定リストにはノード名が表示されます。お買い上げ時のノード名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

1 <+> または <-> を押して「ｾｲﾋﾝ　ｼﾞｮｳﾎｳ」を選択し、<OK> を押す

2 <+> または <-> を押して「ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ　ｲﾝｻﾂ」を選択し、<OK> を押す

ネットワーク設定リストが印刷されます。

ｾｲﾋﾝ　ｼﾞｮｳﾎｳ
ﾈｯﾄﾜｰｸｾｯﾃｲ　ｲﾝｻﾂ

補足

ネットワーク設定リストのIPアドレスが「0.0.0.0」と印刷された場合は、本製品がまだ起動中です。1分後に操作をやり直してください。

WLANレポート（無線LANレポート）の出力

現在の無線LANに関する設定内容を印刷できます。
無線LAN接続ができない場合は、印刷されたWLANレポート（無線LANレポート）でエラーコードを確認してください。エラーコードの詳細については、かんたん設置ガイド「困ったときは（トラブル対処方法）」を参照してください。

1 <+> または <-> を押して「ｾｲﾋﾝ　ｼﾞｮｳﾎｳ」を選択し、<OK> を押す

2 <+> または <-> を押して「ﾑｾﾝ LAN ﾚﾎﾟｰﾄ　ｲﾝｻﾂ」を選択し、<OK> を押す

WLAN レポート（無線 LAN レポート）が印刷されます。

ｾｲﾋﾝ　ｼﾞｮｳﾎｳ
ﾑｾﾝLANﾚﾎﾟｰﾄ　ｲﾝｻﾂ

お買い上げ時のLAN設定

お買い上げ時の設定は、下線で示しています。

メイン メニュー	サブ メニュー	サブサブ メニュー	メニュー 選択	選択項目
ネットワーク	ユウセン LAN	TCP／IPセッテイ	IP シュトク ホウホウ	ジドウ Static RARP BOOTP DHCP
			IP アドレス	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			サブ ネット マスク	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			ゲートウェイ	[000-255]. [000-255]. [000-255]. [000-255] (000. 000. 000. 000)
			IP セッテイリトライ	0、3、~32767
			APIPA	On Off
			IPv 6	Off On
		イーサネット	—	ジドウ 100B-FD 100B-HD 10B-FD 10B-HD
		ユウセン LAN ジョウタイ	—	アクティブ 100B-FD アクティブ 100B-HD アクティブ 10B-FD アクティブ 10B-HD ミセツゾク ユウセンLAN オフ
		MAC アドレス	—	—
		ショキセッテイ ニ モドス	+. リセット	—
			−. キャンセル	—
		ユウセン LAN ユウコウ	—	On Off

メイン メニュー	サブ メニュー	サブサブ メニュー	メニュー 選択	選択項目
ネットワーク	ムセンLAN	TCP／IPセッテイ	IPシュトク ホウホウ	ジドウ Static RARP BOOTP DHCP
			IPアドレス	[000−255].[000−255]. [000−255].[000−255] (000.000.000.000)
			サブネットマスク	[000−255].[000−255]. [000−255].[000−255] (000.000.000.000)
			ゲートウェイ	[000−255].[000−255]. [000−255].[000−255] (000.000.000.000)
			IPセッテイリトライ	0、3、~32767
			APIPA	On Off
			IPv6	Off On
		セツゾク ウィザード	—	—
		WPS／AOSS	—	—
		WPS w／PIN Code	—	—
		ムセン ジョウタイ	セツゾク ジョウタイ	—
			デンパ ジョウタイ	—
			ツウシン チャンネル	—
			ツウシン ソクド	—
			SSID	—
			ツウシン モード	—
		MACアドレス	—	—
		ショキセッテイ ニ モドス	+.リセット	—
			−.キャンセル	—
		ムセン LAN ユウコウ	—	Off On
	LANセッテイリセット	+.リセット	—	—
		−.キャンセル		

5章

ウェブブラウザーで管理する

概要

標準のウェブブラウザーで、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用して、ネットワークに接続されている本製品を管理することができます。
Windows®の場合はMicrosoft Internet Explorer 6.0以降またはFirefox 3.0以降、Macintoshの場合はSafari 3.0以降を推奨します。

補足
- どのウェブブラウザーの場合も、JavaScriptおよびCookieを有効にして使用してください。
- 他のウェブブラウザーを使用する場合は、HTTP 1.0およびHTTP 1.1と互換性があることを確認してください。

ウェブブラウザーを使用して、本製品から次の情報を取得したり、設定したりすることができます。
- 本製品のステータス、設定、メンテナンスに関する詳細情報の取得
- 本製品とプリントサーバーのソフトウェアバージョン情報の取得
- 本製品の設定変更
- ネットワークの設定変更
- テストページ、プリンター設定一覧、ネットワーク設定リストの印刷
- ネットワーク設定リセット
- セキュリティ機能ロック2.0の設定
- 印刷ログ機能の設定

● 条件

本製品とコンピューターのTCP/IP設定が完了していること。

● 設定の流れ

1. TCP/IPプロトコルによってコンピューターがネットワーク接続されていることを確認します。
2. ウェブブラウザーを起動し、本製品のIPアドレスまたはノード名（NetBIOS名）を入力します。

ウェブブラウザーを使用して本製品を設定する

標準のウェブブラウザーで、HTTP（ハイパーテキスト転送プロトコル）を使用し、プリントサーバーなどの設定を変更することができます。

補足

ウェブブラウザーを使用して設定をする場合は、インターネットセキュリティのために、HTTPSプロトコルの使用をおすすめします。HTTPSプロトコルを有効にするには、⇒68ページ「ウェブブラウザーを使って安全に管理する」を参照してください。

1 ウェブブラウザーを起動する

2 ウェブブラウザーのアドレス入力欄に、http://XXXXX/ を入力する

- ［XXXXX］はご使用になる本製品のIPアドレスです。

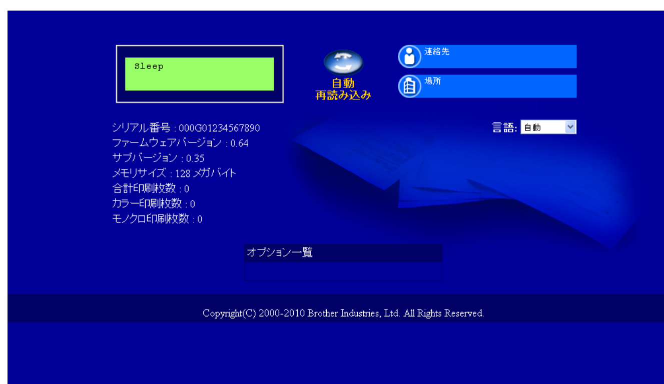


例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
　ウェブブラウザーに http://192.168.1.3/ と入力します。

- 本製品のIPアドレスの確認は、⇒42ページを参照してください。
- Windows®のドメイン/ワークグループ環境の場合は、ノード名（NetBIOS名）を使用することもできます。
- DNSを使用している場合は、DNS名を入力します。

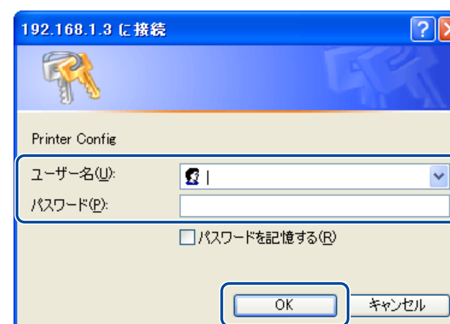
3 目的の管理機能へのリンクをクリックする

ネットワークの設定を表示または変更する場合は、［ネットワーク設定］をクリックします。



4 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは“access”に設定されています。



5 必要に応じて設定を変更する

本ガイドの使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
プリンタードライバーを使用して無線LANを設定する
操作パネルで設定する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

補足

- プロトコル設定を変更した場合は、変更内容を有効にするため［OK］をクリックして、画面の指示に従って本製品を再起動してください。
- hosts ファイルを編集した場合や、または DNS サーバーを使用している場合は、IP アドレスではなく、本製品に割り当てた名前（例：Shared_Printer）を入力します。また、本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているためIPアドレスではなく、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。NetBIOS名は、ネットワーク設定リストで確認できます。ネットワーク設定リストを印刷するには、⇒ 47 ページ「ネットワーク設定リストの出力」を参照してください。NetBIOS名は、ノード名の最初の15文字が割り当てられます。お買い上げ時のNetBIOS名は、有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”です。(「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。)
- Mac OS X ユーザーの方は、ステータスモニターの本製品アイコンをクリックしてウェブブラウザーを起動することで、本製品にアクセスすることができます。
  詳しくは⇒ユーザーズガイドを参照してください。

パスワードについて

ウェブブラウザーでは、2 段階のパスワードによる管理が可能です。一般ユーザーで管理できるのは「基本設定」、「プリンター設定」、「USBダイレクトプリント」です。

● 一般ユーザー

ユーザー名：user
パスワード：access

ネットワーク管理者用のパスワード管理では、すべての機能を管理できます。

● 管理者

ユーザー名：admin
パスワード：access

セキュリティ機能ロック2.0

ウェブブラウザーを使用してユーザーの名前（ID）とパスワードを登録することで、ユーザーごとに利用できる以下の機能をそれぞれ制限することができます。

- PCプリント※
- USBダイレクトプリント
- カラープリント
- 印刷枚数の制限
- ページカウンター

※ コンピューターのログイン名が登録してある場合は、パスワードを入力することなく、プリントの制限をすることができます。
詳しくは、⇒56ページ「コンピューターのログイン名でプリントを制限する」を参照してください。

印刷枚数を制限することで不正な出力を防止し、経費削減にもつながります。
ページカウンターで、ユーザーごとに合計、モノクロ、カラーの印刷枚数を閲覧することができます。詳しくは⇒57ページ「その他の設定」を参照してください。

補足
セキュリティ機能ロック2.0は、BRAdmin Professionalでも設定することができます。

セキュリティ機能ロック2.0を設定する

基本設定

1 ウェブブラウザーを起動する

2 ウェブブラウザーのアドレス入力欄に、http://XXXXX/ を入力する

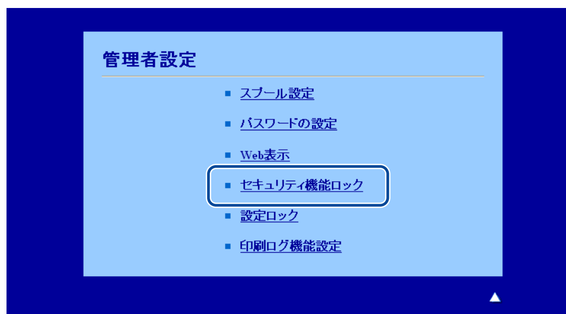
- ［XXXXX］はご使用になる本製品のIPアドレスです。



例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.3 の場合
　ウェブブラウザーに http://192.168.1.3/ と入力します。

- 本製品のIPアドレスの確認は、⇒42ページを参照してください。
- Windows®のドメイン/ワークグループ環境の場合は、ノード名（NetBIOS名）を使用することもできます。
- DNSを使用している場合は、DNS名を入力します。

3 本製品のウェブページから［管理者設定］－［セキュリティ機能ロック］をクリックする



4 「セキュリティ機能ロック」から［On］を選択する

5 ［制限 ID 番号 /ID 名］と［パスワード］を入力する

- 15文字まで登録できます。
- 同じユーザー名は登録できません。
- パスワードは4桁の数字で入力します。

6 制限したい機能のチェックを外す

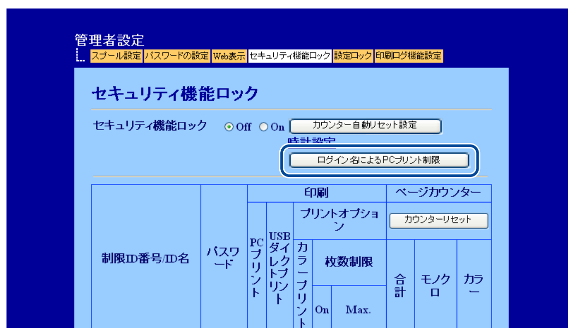
印刷枚数を制限する場合は、［枚数制限　On］をチェックし最大印刷可能枚数を入力してください。

7 ［OK］をクリックして、ウェブブラウザーを閉じる

コンピューターのログイン名でプリントを制限する

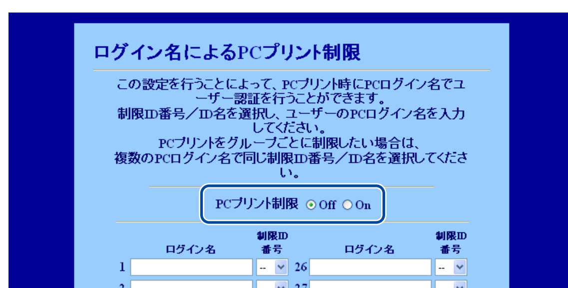
コンピューターへログインするために使用しているユーザー名で、プリント制限の認証を行うことができます。

1 セキュリティ機能ロックの基本画面から［ログイン名による PC プリント制限］をクリックする



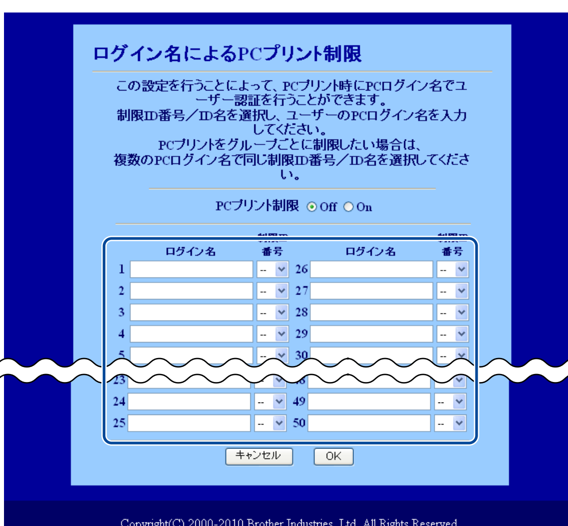
2 「PC プリント制限」から［On］を選択する

補足
PCログイン名を使用する場合は、プリンタードライバーでの設定も必要です。
詳しくは、⇒ユーザーズガイドを参照してください。



3 ［ログイン名］を入力し、「セキュリティ機能ロック」で登録した［制限 ID 番号］を選択する

補足
一つの［制限ID番号］にグループとして複数の［ログイン名］を登録することも可能です。



4 ［OK］をクリックして、ウェブブラウザーを閉じる

補足
- 1グループ単位でPCプリントを制限したい場合は、各ログインユーザー名で同じ制限ID番号を選択してください。
- PC プリント時のユーザー認証にログインユーザー名を使用する場合は、プリンタードライバーの「ユーザー認証」で「ログイン ユーザー名を使う」チェックボックスをチェックする必要があります。詳しくは、⇒ユーザーズガイドを参照してください。
- BR-Script3プリンタードライバーでのプリントは制限できません。

一般モードの設定

一般ユーザーが利用できる機能を制限するためには、一般モードを設定します。
一般ユーザーがこの機能で利用可能に設定された機能を使用する場合は、パスワードを入力する必要はありません。

1 **「セキュリティ機能ロック」の基本画面から［一般モード］の機能制限したい項目のチェックボックスのチェックを外す**

2 **［OK］をクリックする**

その他の設定

1 **以下の設定をする**

① カウンター自動リセット設定
定期的にページカウンターをリセットするための設定をします。

② カウンターリセット
すべてのページカウンターを「0」にします。

③ 印刷・その他
機能を制限するときにチェックボックスのチェックを外します。

④ 前回ログ参照
ページカウンターがリセットされる以前のログを表示します。

⑤ CSV ファイルへ出力
制限 ID 番号 /ID 名と現在のページカウンターの情報をエクスポートします。

管理者設定
スプール設定 | パスワードの設定 | Web表示 | セキュリティ機能ロック | 設定ロック | 印刷ログ機能設定

セキュリティ機能ロック

セキュリティ機能ロック　◉ Off　○ On　［カウンター自動リセット設定］ ①
時計設定
［ログイン名によるPCプリント制限］

	制限ID番号/ID名	パスワード	印刷: PCプリント	印刷: USBダイレクトプリント	印刷: プリントオプション カラープリント	枚数制限 On	枚数制限 Max.	ページカウンター（カウンターリセット ②）: 合計	モノクロ	カラー
	一般モード		☐	☐	☐	☐		0	0	0
1	USER01	XXXX	☑	☑	☑	☐	100	0	0	0
2	USER02	XXXX	☐	☑	☑	☐	50	0	0	0
3	USER03	XXXX	☐	☐	☑	☐	25	0	0	0
4										
23			☑	☑	☑	☐		0	0	0
24			☑	☑	☑	☐		0	0	0
25			☑	☑	☑	☐		0	0	0

③

［前回ログ参照］ ④
［CSVファイルへ出力］ ⑤

［キャンセル］　［OK］

目次
本ガイドの使い方・
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルで設定する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

SNTPプロトコルを設定する

SNTPとは、ネットワーク上のコンピューターがSNTPサーバーと通信して正確な時刻を同期させるためのプロトコルです。
標準ウェブブラウザーを使用して、設定をすることができます。
標準ウェブブラウザーに http://XXXXX/ と入力し、本製品のウェブページから［ネットワーク設定］－［プロトコル設定］をクリックすると、SNTPの設定をすることができます。
- ［XXXXX］はお使いのコンピューターのIPアドレスです。



1　［SNTP］のチェックボックスを選択し、設定を有効にする

本ガイドの使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルで設定する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

2 ［詳細設定］をクリックする

① 状態

SNTP サーバー設定が有効か無効かを表示します。

② SNTP サーバー設定の方法

［AUTO］、または［STATIC］を選択します。

- **AUTO**

  ネットワーク上に DHCP サーバーがある場合、SNTP サーバーは DHCP サーバーから自動でアドレスを取得します。

- **STATIC**

  使用したいアドレスを入力します。

③、⑤ SNTP サーバーアドレス（プライマリ）、（セカンダリ）

サーバーアドレスを 64 文字以内で入力します。

④、⑥ SNTP サーバーポート（プライマリ）、（セカンダリ）

ポート番号を入力します。（1 から 65535）

⑦ 同期間隔

サーバーと同期したい時間の間隔を入力します。（1 から 168 時間）

補足

SNTP タイムサーバーを使用して、SNTP の時刻と本製品で使用される時刻を同期させるためには、「時計設定」画面で［SNTP サーバーと同期する］を設定しなければなりません。「SNTP 設定」の画面で［時計設定］をクリックし、「基本設定」の画面で、［SNTPサーバーと同期する］のチェックボックスにチェックを入れてください。

また、タイムゾーンを正しく設定しなければなりません。「タイムゾーン」のプルダウンメニューからあなたのお住まいの国とUTC※の時差を選んでください。

例）日本 UTC+9：00

※ 世界標準時間

⑧ 同期状態

最新の同期状態を確認できます。

3 ［OK］をクリックする

設定が適用されます。

印刷ログ機能設定について

概要

本製品の印刷履歴を、CIFS※接続を経由して、ネットワークサーバー上に保存できます。各印刷ジョブのID、種類、ジョブの名前、ユーザー名、日付、時間、印刷されたページ、カラーページの数を記録することができます。標準ウェブブラウザーから、機能設定をすることができます。
※CIFS とは、Common Internet File System（共通インターネットファイルシステム）プロトコルの略で、TCP/IP を利用し、ネットワーク上のコンピューターからイントラネット、またはインターネット経由でファイルを共有することができます。

以下の印刷機能が印刷ログに記録されます。
- お使いのコンピューターからの印刷ジョブ
- USBダイレクトプリント

補足

●印刷レポート＆リストは、サーバーに記録されません。
●印刷ログ機能設定は、［Kerberos］認証および［NTLMv2］認証をサポートしています。
●認証を使用するには、SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）、または日付・時間、タイムゾーンを正しく設定しなければなりません。
●ファイルをサーバーへ保存するときに、［TXT］または［CSV］のファイルタイプを選ぶことができます。

ウェブブラウザーを使用して印刷ログ機能を設定する

標準ウェブブラウザーにhttp://XXXXX/を入力し、本製品のウェブページから［管理者設定］－［印刷ログ機能設定］をクリックすると、機能の設定、変更をすることができます。
- ［XXXXX］はご使用になる本製品のIPアドレスです。

1

以下の設定をする

① 印刷ログ

印刷ログの［On］を選択します。

② サーバーアドレス

サーバーアドレスは、CIFS サーバーのドメイン名です。ホストアドレス（例：example.com）、または IP アドレス（例：192.168.56.189）を 64 文字以内で入力します。

③ 転送先フォルダー

印刷ログを保存する CIFS サーバー上の転送先フォルダーを 60 文字以内で入力します。（例：brother/abc）

④ ファイル名印刷

印刷ログとして使用するためのファイル名を 15 文字以内で入力します。

⑤ ファイルタイプ

印刷ログのファイルタイプ［TXT］、または［CSV］を選択します。

⑥ 認証方法

CIFS サーバーにアクセスするために必要な認証方式［自動］、［Kerberos］※1 または［NTLMv2］※2 を選択します。

※1 Kerberos は、シングルサインオンという機能を使用して、ネットワークサーバーに機器、または個人の ID を正しく証明することができる認証プロトコルです。

※2 NTLMv2 は、ネットワークにログオンするために、Windows® で使用されているデフォルトの認証方式です。

Kerberos および NTLMv2 認証においては、時計設定、または SNTP プロトコル（ネットワークタイムサーバー）も設定しなければなりません。SNTP プロトコルの設定については、⇒58 ページ「SNTP プロトコルを設定する」を参照してください。
時計設定と SNTP 設定は、ウェブブラウザーからでも設定することができます。

- **自動**
  ［自動］を選択すると、本製品はまず Kerberos サーバーを検索します。Kerberos サーバーが検出されないと NTLMv2 が認証方式として使用されます。
- **Kerberos**
  ［Kerberos］を選択した場合、Kerberos 認証のみ使用できます。
- **NTLMv2**
  ［NTLMv2］を選択した場合、NTLMv2 認証のみ使用できます。

⑦ ユーザー名

認証のためのユーザー名を 96 文字以内で入力します。

補足

ユーザー名がドメインの一部の場合、以下のスタイルの 1 つでユーザー名を入力してください。
user@domainまたはdomain¥user

⑧ パスワード

認証のためのパスワードを 32 文字以内で入力します。

⑨ Kerberos サーバーアドレス（必要な場合）

KDC サーバーアドレス（例：example.com）または IP アドレス（例：192.168.56.189）を 64 文字以内で入力します。

⑩ 接続状態

最新のログの書き込み状態を確認できます。詳細については、⇒63 ページ「エラーメッセージについて」を参照してください。

2

［OK］をクリックする

設定が適用されます。

書き込みエラー時の設定

ネットワークエラーにより印刷ログがサーバーに記録できない場合に行う処理を選ぶことができます。



「書き込みエラー時設定」で［ログを書き込まずに印刷］または［印刷中止］を選択する

● **ログを書き込まずに印刷**

［ログを書き込まずに印刷］を選択した場合、本製品は印刷ログをサーバーに保存せずに文書を印刷します。印刷ログ機能設定が修復されると、印刷ログは以下のように保存されます。

（1）印刷の終了時に印刷ログが記録できない場合、印刷ページおよびカラーページ数を除いた印刷ログが記録されます。

（2）印刷の開始時と終了時に印刷ログが記録できない場合、ジョブの印刷ログは記録されません。機能が修復されたときに、エラーがあったことをログに記録します。

印刷ログ例

```
Id, Type, Job Name, User Name, Date, Time, Print Pages, Color Pages
1,Print (Network), "Doc01.doc","user01", 2011/01/25, 14:21:32, 10,10
2,Print (Network), "Doc02.doc","user01", 2011/01/25, 14:45:30, ?, ?    ①
3,Print(USB), "Report01.xls", "Mike", 2011/01/25, 15:20:30, 13, 10
4,<ERROR>, ?, ?, ?, ?, ?, ?                                             ②
5,Print (Network), "Doc03.doc","user01", 2011/01/25, 16:12:50, 40, 10
```

● **印刷中止**

［印刷中止］を選択した場合、印刷ログがサーバーに保存できないときは印刷ジョブはキャンセルされます。



［OK］をクリックする

設定が適用されます。

エラーメッセージについて

本製品のエラー状態をディスプレイ、または標準ウェブブラウザーの［接続状態］から確認することができます。

●「サーバー ガ ミツカリマセン . カンリシャ ニ トイアワセテクダサイ .」

サーバーに接続できない場合、このメッセージが表示されます。
以下の項目を確認してください。

- サーバーアドレスは正しいですか？
- サーバーがネットワークに接続されていますか？
- 本製品がネットワークに接続されていますか？

●「ユーザーニンショウ ニ シッパイシマシタ . カンリシャ ニ トイアワセテクダサイ .」

［認証設定］が正しくない場合、このメッセージが表示されます。
以下の項目を確認してください。

- 認証設定のユーザー名※1およびパスワードは正しいですか?

  ※1 ユーザー名がドメインの一部の場合、以下のスタイルの1つでユーザー名を入力してください。
  user@domainまたはdomain¥user
- SNTPサーバーとログファイルサーバーの時間は合っていますか？
  また、時間設定は正しいですか？
- Kerberos または NTLMv2 にて認証に使用されている時間と合うように、SNTP タイムサーバープロトコルが正しく設定されていますか？
- 認証サーバーと本製品の時間※2が合っていますか？

  ※2 ウェブブラウザーを使用してタイムゾーンを正しく設定してください。

●「ファイル ヘ アクセスデキマセン . カンリシャ ニ トイアワセテクダサイ .」

転送先フォルダーにアクセスできない場合、このメッセージが表示されます。
以下の項目を確認してください。

- ディレクトリ名は正しいですか？
- ディレクトリは書き込み可能ですか？
- ファイルはロックされていませんか？

●「トケイ ガ ミセッテイデス. カンリシャ ニ トイアワセテクダサイ」

ユーザー認証に必要となる現在時刻が取得できない場合、このメッセージが表示されます。

- 本製品の時刻※1設定が未設定ではありませんか？

  ※1 本製品の時刻は、電源スイッチOFFの状態が60時間を経過すると、未設定状態に戻ることがあります。
  ウェブブラウザーを使用して、SNTPの時刻が正しく設定されているかを確認してください。
- SNTPで現在時刻※2が取得できていますか？

  ※2 SNTPサーバーから取得した時刻とウェブブラウザーで設定した時計設定の時刻が合っているかを確認してください。

補足

［印刷中止］をウェブブラウザーで設定している場合、ディスプレイ上に「ログカキコミ デキマセン」というメッセージと、上記メッセージが約30秒間表示されます。

セキュリティ機能ロック2.0を設定して印刷ログ機能を使用する

セキュリティ機能ロック2.0の設定が［On］の場合、登録されているユーザー名/PCプリント/USBダイレクトプリントのそれぞれの機能が印刷ログとして記録されます。

管理者設定

スプール設定 | パスワードの設定 | Web表示 | セキュリティ機能ロック | 設定ロック | 印刷ログ機能設定

セキュリティ機能ロック

セキュリティ機能ロック　⊙Off ○On　［カウンター自動リセット設定］

時計設定

［ログイン名によるPCプリント制限］

制限ID番号/ID名		パスワード	印刷 PCプリント	USBダイレクトプリント	プリントオプション カラープリント	枚数制限 On	枚数制限 Max.	ページカウンター 合計	モノクロ	カラー
	一般モード		☑	☑	☑	☐		0	0	0
1	USER01	XXXX	☑	☑	☑	☐		0	0	0
2	USER02	XXXX	☑	☑	☑	☐		0	0	0
3	USER03	XXXX	☑	☑	☑	☐		0	0	0
4			☑	☑	☑	☐		0	0	0
5			☑	☑	☑	☐		0	0	0

［カウンターリセット］

セキュリティ機能ロック2.0を使用しているユーザーの印刷ログ例

```
Id, Type, Job Name, User Name, date, Time, Print Pages, Color Pages
1, Print(Network), -, -, 2011/4/29, 9:36:06, 1,1
2, Print(Network), -, -, 2011/4/29, 22:38:30, 1,0
3, Print(USB), -, USER01, 2011/4/30, 9:06:17, 1,0
4, Print(USB), -,USER02, 2011/4/30, 9:02:13, 2,0
5, USB Direct, -, USER03, 2011/4/30, 10:58:52, 1,1
```

6章

セキュリティ機能

概要

コンピューターをネットワークに接続していると、悪意のある第三者によって不正にネットワークにアクセスされてデータや機密情報が読み取られてしまうなどの危険性があります。
本製品は、最新のネットワークセキュリティおよび暗号化プロトコルを使用して、機器への不正アクセスを防止する機能を搭載しています。
この章では、本製品がサポートしているセキュリティプロトコルやその設定方法について説明します。

以下のセキュリティ管理をすることができます。

● SSL/TLS を使って、本製品のセキュリティを管理する

詳しくは、⇒68ページ「ウェブブラウザーを使って安全に管理する」を参照してください。

● SNMPv3 プロトコルを使って、本製品のセキュリティを管理する

詳しくは、⇒68ページ「ウェブブラウザーを使って安全に管理する」、または⇒79ページ「BRAdmin Professionalを使って安全に管理する（Windows®のみ）」を参照してください。

● SSL/TLS（IPPS）を使って、文章を安全に印刷する

詳しくは、⇒71ページ「IPPSを使って文書を安全に印刷する」を参照してください。

● 安全に E メールを送受信する

詳しくは、⇒72ページ「安全なEメールの送受信」を参照してください。

● IEEE802.1x 認証方式を使う

詳しくは、⇒76ページ「IEEE802.1x認証方式を使用する」を参照してください。

● BRAdmin Professional を使って、本製品を安全に管理をする

詳しくは、⇒79ページ「BRAdmin Professionalを使って安全に管理する（Windows®のみ）」を参照してください。

● 本製品を安全に管理するために、証明書を使う

詳しくは、⇒80ページ「証明書を使って安全に管理する」を参照してください。

● 複数の証明書を管理する

詳しくは、⇒93ページ「複数の証明書を管理する」を参照してください。

補足

Telnet、FTP、TFTPプロトコルを無効にしてください。これらのプロトコルを使って機器にアクセスすることは、セキュリティ上安全ではありません。プロトコルの設定方法については、⇒67ページ「プロトコルを設定する」を参照してください。

プロトコルを設定する

ウェブブラウザーを使って、各プロトコルおよびセキュリティ方法を有効または無効にできます。

補足

- Windows®の場合はInternet Explorer® 6.0以降またはFirefox 3.0以降、Macintoshの場合はSafari 3.0以降をおすすめします。
- どのウェブブラウザーの場合も、JavaScriptおよびCookieを有効にして使用してください。
- 上記以外のウェブブラウザーを使用する場合は、HTTP1.0とHTTP1.1に互換性があるかを確認してください。
- ウェブブラウザーを使用するには、本製品のIPアドレスが必要です。

1 **ウェブブラウザーを起動する**

2 **ウェブブラウザーのアドレス入力欄に http://XXXXX/ を入力する**

［XXXXX］はご使用になるプリンターの IP アドレスです。

例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.2 の場合
ブラウザーに http://192.168.1.2/ を入力します。

補足

hostsファイルを編集した場合や、DNS（ドメインネームシステム）を使用している場合は、IPアドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているため、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。
NetBIOS名は、ネットワーク設定リストに表示されます。ネットワーク設定リストの印刷方法については、⇒47ページ「ネットワーク設定リストの出力」を参照してください。
お買い上げ時のNetBIOS名は、ノード名（有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”）と同じです。
（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

3 **本製品のウェブページから［ネットワーク設定］をクリックする**

4 **［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする**

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは、“access”に設定されています。

5 **［プロトコル設定］をクリックする**

6 **必要に応じてプロトコルの設定を変更する**

7 **設定を変更した場合は、［OK］をクリックする**

本製品の電源を入れ直した後に、設定が変更されます。

ネットワークプリンターを安全に管理する

ネットワークプリンターを安全に管理するには、セキュリティプロトコルと合わせて、以下の管理ソフトウェアを使用する必要があります。

- ウェブブラウザー
- BRAdmin Professional ⇒79ページ

ウェブブラウザーを使って安全に管理する

ネットワークプリンターを安全に管理するためには、HTTPSとSNMPv3の使用をおすすめします。HTTPSプロトコルを使用するには、以下の設定が必要です。

- 自己署名証明書、または証明機関（CA）発行の証明書と秘密鍵をインストールする必要があります。証明書と秘密鍵のインストール方法については、⇒80ページ「証明書を使って安全に管理する」を参照してください。
- HTTPS プロトコルを有効にする必要があります。HTTPS プロトコルを有効にするには、ウェブブラウザーから本製品にアクセスし、［プロトコル設定］の［Web Based Management（Web Server)］の［HTTP サーバ設定］のプルダウンメニューから証明機関（CA）発行の証明書を選択、インストールして、「SSL 通信を使う（ポート 443)」を有効にします。［プロトコル設定］ページにアクセスする方法については、⇒67ページ「プロトコルを設定する」を参照してください。

補足

- ●Windows®の場合はInternet Explorer® 6.0以降またはFirefox 3.0以降、Macintoshの場合はSafari 3.0以降をおすすめします。
- ●どのウェブブラウザーの場合も、JavaScriptおよびCookieを有効にして使用してください。
- ●上記以外のウェブブラウザーを使用する場合は、HTTP1.0とHTTP1.1に互換性があるかを確認してください。
- ●ウェブブラウザーを使用するには、本製品のIPアドレスが必要です。

1 **ウェブブラウザーを起動する**

2 **ウェブブラウザーのアドレス入力欄に https://XXXXX/ を入力する**

"http" の後ろに "s" を付け、https:// と入力してください。
［XXXXX］は、IP アドレス、ホスト名、ドメイン名などの証明書に割り当てたコモンネームを入力します。証明書にコモンネームを割り当てる方法については、⇒ 80 ページ「証明書を使って安全に管理する」を参照してください。

例）https://192.168.1.2/（「XXXXX」が本製品の IP アドレスである場合）

補足

hostsファイルを編集した場合や、DNS（ドメインネームシステム）を使用している場合は、IPアドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているため、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。
NetBIOS名は、ネットワーク設定リストに表示されます。ネットワーク設定リストの印刷方法については、⇒47ページ「ネットワーク設定リストの出力」を参照してください。
お買い上げ時のNetBIOS名は、ノード名（有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”）と同じです。
（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

本ガイドの使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルで設定する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

3 HTTPS を使って本製品にアクセスする

HTTPS プロトコルを使用するときは、SNMPv3 を合わせて使用することをおすすめします。SNMPv3 を使用する場合は以降の手順に従ってください。

補足

SNMP設定はBRAdmin Professionalでも変更できます。

4 本製品のウェブページから［ネットワーク設定］をクリックする

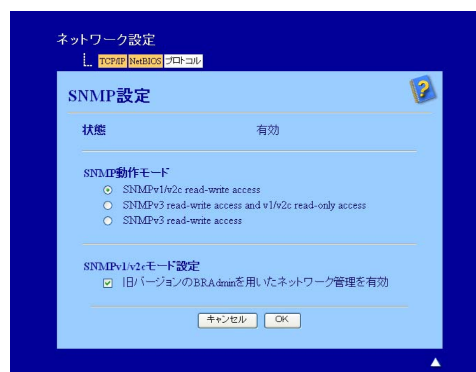
5 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは、“access”に設定されています。

6 ［プロトコル設定］をクリックする

7 必ず SNMP 設定を有効にし、SNMP の［詳細設定］をクリックする

右の画面から SNMP 設定を設定できます。



SNMP動作モードは次の3種類です。

● SNMPv3 read-write access

このモードでは、SNMPプロトコルのバージョン3が使用されます。安全に本製品を管理する場合は、このモードを選択してください。

補足

「SNMPv3 read-write access」を使用する場合は、次の点に注意してください。

- プリントサーバーは、BRAdmin Professional、またはウェブブラウザーでのみ管理できます。
- SSL通信（HTTPS）の使用をおすすめします。
- BRAdmin Professional以外では、SNMPv1/v2cを使用するすべてのアプリケーションが制限されます。
  SNMPv1/v2c で動作するアプリケーションを使用するには、「SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access」または「SNMPv1/v2c read-write access」を使用してください。

● SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access

このモードでは、SNMPプロトコルのバージョン3の読み書きと、バージョン1および2cの読み取りが使用されます。

補足

「SNMPv3 read-write access and v1/v2c read-only access」を使用する場合は、バージョン1および2cの読み取りアクセスではパスワード認証ができないため、BRAdmin Lightなどのブラザーアプリケーションが正しく動作しません。すべてのブラザーアプリケーションを使用する場合は、「SNMPv1/v2c read-write access」を使用してください。

● SNMPv1/v2c read-write access

このモードでは、SNMPプロトコルのバージョン1および2cが使用されます。すべてのブラザーアプリケーションが使用できます。ただし、ユーザーが認証されず、データが暗号化されないため、安全ではありません。

補足

詳細については、ウェブブラウザーのSNMP設定のヘルプ を参照してください。

IPPSを使って文書を安全に印刷する

文書を暗号化し、インターネットを経由して安全に印刷するには、IPPSプロトコルを利用します。

注意

IPPSを使用した通信では、本製品への不正アクセスを防止することはできません。

補足

IPPSは、Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2008、Windows Vista®、Windows® 7で利用できます。

IPPSプロトコルを使用するには、以下の設定が必要です。

- 自己署名証明書、または証明機関（CA）発行の証明書と秘密鍵をインストールする必要があります。証明書と秘密鍵のインストール方法については、⇒80ページ「証明書を使って安全に管理する」を参照してください。
- IPPS プロトコルを有効にする必要があります。IPPS プロトコルを有効にするには、ウェブブラウザーから本製品にアクセスし、［プロトコル設定］の［IPP］の［HTTPサーバ設定］のプルダウンメニューから証明機関（CA）発行の証明書を選択、インストールして、「SSL通信を使う（ポート443）」を有効にします。本製品の［プロトコル設定］ページにアクセスする方法については、⇒67ページ「プロトコルを設定する」を参照してください。

IPPS印刷の基本的な手順は、IPP印刷と同じです。

別のURLを指定する

URL欄には、下記の入力が可能です。

補足

［詳細］タブをクリックしても本製品のデータは表示されません。

https://Common_Name/ipp
推奨URLです。

https://Common_Name/ipp/port1
HPJetdirect用のURLです。

https://Common_Name/
URLの詳細を忘れた場合は、上記のテキストだけでも本製品に受け付けられ、データが処理されます。
"http"の後ろに"s"を付け、https://と入力してください。

［Common_Name］（コモンネーム）は、IPアドレス、ホスト名、ドメイン名などの証明書に割り当てたコモンネームを入力します。証明書にコモンネームを割り当てる方法については、⇒80ページ「証明書を使って安全に管理する」を参照してください。
例）https://192.168.1.2/（「コモンネーム」が本製品のIPアドレスである場合）
https://BRNxxxxxxxxxxxx/（「コモンネーム」が本製品のホスト名である場合）
「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。

安全なEメールの送受信

ユーザー認証を必要とするSMTPサーバーを経由して、または暗号化してEメール通達機能を使用するには、「POP before SMTP」/「SMTP-AUTH」の認証方法、またはSSL/TLS通信方式を使用する必要があります。これらの設定はウェブブラウザーで設定することができます。
「POP before SMTP」/「SMTP-AUTH」の認証方法、SSL/TLS 通信方式は、無許可のユーザーがメールサーバーに不正にアクセスしたり、Eメールデータが読み取られることを防ぎます。詳細については、ウェブブラウザーのPOP3/SMTP設定のヘルプ を参照してください。
設定後にテストメールを送信し、Eメール設定が正しいことを確認してください。

補足

- POP3/SMTP 認証の設定を E メールサーバーのいずれかに合わせる必要があります。使用前の設定については、ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。E メール通達機能は、ウェブブラウザーから本製品にアクセスし、［Eメール通達（エラー情報）］から設定してください。
- SSL/TLS 通信を使って E メールを送受信するためには、SSL/TLS 通信に対応している E メールサーバーが必要です。SMTP over SSL/TLS、またはPOP3 over SSL/TLSを正しく設定する必要があります。

Eメール通達機能について

E メール通達機能では、あらかじめ登録しておいたネットワーク管理者に、本製品の状態やトラブルが起きたときにその内容をEメールでお知らせすることができます。
例えば、トナー切れや紙づまりが起きたときなどに、登録しておいたメールアドレスにお知らせメールが届きます。

E メール通達機能を利用するには、メールアドレスと SMTP サーバーの設定が必要です。使用している環境に応じて設定してください。

ウェブブラウザーを使って設定する

1　ウェブブラウザーを起動する

2　ウェブブラウザーのアドレス入力欄に http://XXXXX/ を入力する

［XXXXX］はご使用になる本製品の IP アドレスです。

例）本製品のIPアドレスが192.168.1.2の場合
　　ブラウザーに http://192.168.1.2/ を入力します。

補足

hostsファイルを編集した場合や、DNS（ドメインネームシステム）を使用している場合は、IPアドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているため、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。
NetBIOS名は、ネットワーク設定リストに表示されます。ネットワーク設定リストの印刷方法については、⇒47ページ「ネットワーク設定リストの出力」を参照してください。
お買い上げ時のNetBIOS名は、ノード名（有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”）と同じです。
（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

3 本製品のウェブページから［ネットワーク設定］をクリックする

4 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは、“access”に設定されています。

5 ［プロトコル設定］をクリックする

6 「POP3/SMTP 設定」を必ず有効にし、［詳細設定］をクリックする

7 POP3/SMTP の設定を変更する

ネットワーク設定
TCP/IP NetBIOS プロトコル

POP3/SMTP設定

状態	有効
送信メールサーバ(SMTP)	0.0.0.0
SMTPポート	25
送信メールサーバ(SMTP)認証方式	⊙認証なし ○SMTP-AUTH ○POP before SMTP
SMTP-AUTHアカウント名	
SMTP-AUTHアカウントパスワード	
パスワード設定	
パスワード確認	
SMTP over SSL/TLS	⊙なし ○SSL ○TLS □サーバ証明書を検証
プリンタのEメールアドレス	xxxxxxxxxxxxxx@example.com
受信メールサーバ(POP3)	0.0.0.0
POP3ポート	110
アカウント名(ユーザ名)	
パスワード	
パスワード設定	
パスワード確認	
	□APOPを使用
POP3 over SSL/TLS	⊙なし ○SSL ○TLS □サーバ証明書を検証

Eメール通達(エラー情報)
Eメール通達(メンテナンス情報)
証明書設定

キャンセル　OK

補足

- 詳細については、ウェブブラウザーのPOP3/SMTP設定のヘルプ ? を参照してください。
- 設定後にテストメールを送信し、Eメール設定が正しいことを確認してください。

8 設定を変更した場合は、［OK］をクリックする

「E メール送信設定テスト」画面が表示されます。

9 現在の設定をテストしたい場合は、画面上の指示に従う

ユーザー認証付Eメール通達を使用する

本製品は、ユーザー認証を必要とするSMTPサーバーを経由して、Eメール通達機能、Eメールレポートを使用するための「POP before SMTP」または「SMTP-AUTH」認証方法をサポートしています。ウェブブラウザー、またはBRAdmin Professionalを使用して設定することができます。
「POP3/SMTP設定」画面で、以下の設定をします。詳しくは、⇒72ページ「ウェブブラウザーを使って設定する」を参照してください。

Eメールサーバーを設定する

SMTP認証方法をEメールサーバーの認証方法に設定する必要があります。
Eメールサーバーの設定については、ネットワーク管理者、またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。
SMTP認証方式を有効にするには、「送信メールサーバー（SMTP）認証方式」の［SMTP-AUTH］にチェックを入れる必要があります。

SMTPを設定する

- ウェブブラウザーで　SMTP　ポート番号も変更できます。これは、ご使用の　ISP（インターネットサービスプロバイダー）が「Outbound Port 25 Blocking（OP25B）」サービスを実施している場合に便利です。
- SMTPポート番号をISPがSMTPサーバーで使用している特有の番号（例：ポート587）に変更することで、SMTPサーバー経由でEメールを送信できるようになります。
- 「POP before SMTP」と「SMTP-AUTH」の両方を使える場合は、「送信メールサーバー（SMTP）認証方式」の［SMTP-AUTH］を選択することをおすすめします。
- 「送信メールサーバー（SMTP）認証方式」を［POP before SMTP］に設定すると、受信メールサーバー（POP3）の設定が必要となります。また、「APOPを使用」をチェックして、APOP方式を使用することもできます。

SSL/TLSを使用してEメールを送受信する

本製品は、SSL/TLS通信を必要とするSMTPサーバーを経由してEメールを送受信するためのSSL/TLS通信方式をサポートしています。
SSL/TLS方法は、正しく設定する必要があります。
「POP3/SMTP設定」画面で、以下の設定をします。詳しくは、⇒72ページ「ウェブブラウザーを使って設定する」を参照してください。

サーバー証明書の検証について

● **「SMTP over SSL/TLS」、または「POP3 over SSL/TLS」の［SSL］、または［TLS］を選択した場合は、［サーバ証明書の検証］に自動的にチェックが入ります。**

- サーバー証明書を検証する前に、証明機関（CA）発行の CA 証明書をインポートする必要があります。CA 証明書については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。証明書のインポートについては、⇒91 ページ「証明書と秘密鍵をインポート/エクスポートする」を参照してください。
- サーバー証明書検証の必要のない場合は、［サーバ証明書の検証］のチェックを外してください。

ポート番号について

● **［SSL］、または［TLS］を選択した場合、プロトコルに合わせた［SMTP ポート］、または［POP3 ポート］の番号が変わります。手動でポート番号を変えたい場合は、「SMTP over SSL/TLS」、または「POP3 over SSL/TLS」でいずれかを選択してからポート番号を入力しください。**

● **E メールサーバーに合わせた POP3/SMTP 通信方法に設定しなければなりません。E メールサーバーの設定については、ネットワーク管理者、またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。**

安全なWebメールサービスには次の設定が必要です。
（SMTP）
- ［SMTPポート］は、［587］を選択してください。
- 「送信メールサーバー（SMTP）認証方式」は、［SMTP-AUTH］を選択してください。
- 「SMTP over SSL/TLS」は、［TLS］を選択してください。

（POP3）
- ［POP3ポート］は、［995］を選択してください。
- 「POP3 over SSL/TLS」は、［SSL］を選択してください。

IEEE802.1x認証方式を使用する

本製品は、有線、または無線LANで認証方式IEEE802.1x認証を使用することができます。
IEEE802.1 x 認証を使用するためには、証明機関（CA）発行の証明書をインストールする必要があります。
CA証明書のインポートが必要な場合は、ネットワーク管理者、またはインターネットサービスプロバイダーにお問い合わせください。証明書のインストールについては、⇒80ページ「証明書を使って安全に管理する」を参照してください。

ウェブブラウザーを使ってIEEE802.1x認証を設定する

ウェブブラウザーを使用して、有線、または無線LANのIEEE802.1 x 認証を設定します。次の手順に従ってください。
ウェブブラウザーの他にも下記の方法でIEEE802.1x認証を設定することができます。

● 有線 LAN の場合

- BRAdmin Professional

● 無線 LAN の場合

- 操作パネルから手動で無線LAN設定をする
- ブラザーインストーラーを使用する
- BRAdmin Professional

補足

●EAP-TLS 認証を使って本製品を設定する場合は、設定する前に証明書をインストールする必要があります。
複数の証明書を使用している場合は、使用する証明書をメモしておいてください。証明書のインストールについては、⇒90ページ「証明書をインストールする」を参照してください。

●サーバー証明書を検証する前に、サーバー証明書を認証している証明機関（CA）発行の CA 証明書をインポートする必要があります。証明機関（CA）発行の証明書については、システム管理者にお問い合わせください。証明書のインポートについては、⇒91ページ「証明書と秘密鍵をインポート/エクスポートする」を参照してください。

●証明書についての詳細は、⇒80ページ「証明書を使って安全に管理する」を参照してください。

1 **ウェブブラウザーを起動する**

2 **ウェブブラウザーのアドレス入力欄に http://XXXXX/ を入力する**

［XXXXX］はご使用になる本製品の IP アドレスです。

例）本製品の IP アドレスが 192.168.1.2 の場合
　　ブラウザーに http://192.168.1.2/ を入力します。

補足

●hosts ファイルを編集した場合や、DNS（ドメインネームシステム）を使用している場合は、IP アドレスではなく、本製品に割り当てた名前（例：Shared_Printer）を入力します。また、本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているためIPアドレスではなく、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。
NetBIOS名は、ネットワーク設定リストに表示されます。ネットワーク設定リストの印刷方法については、⇒47ページ「ネットワーク設定リストの出力」を参照してください。
お買い上げ時のNetBIOS名は、ノード名（有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”）と同じです。
（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

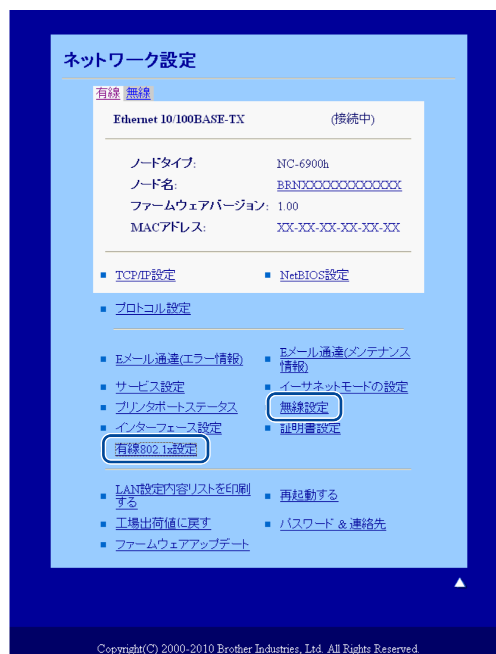
●Mac OS X ユーザーの方は、ステータスモニターの本製品アイコンをクリックしてウェブブラウザーを起動することで、本製品にアクセスすることができます。
詳しくは⇒ユーザーズガイドを参照してください。

3 本製品のウェブページから［ネットワーク設定］をクリックする

4 ［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする

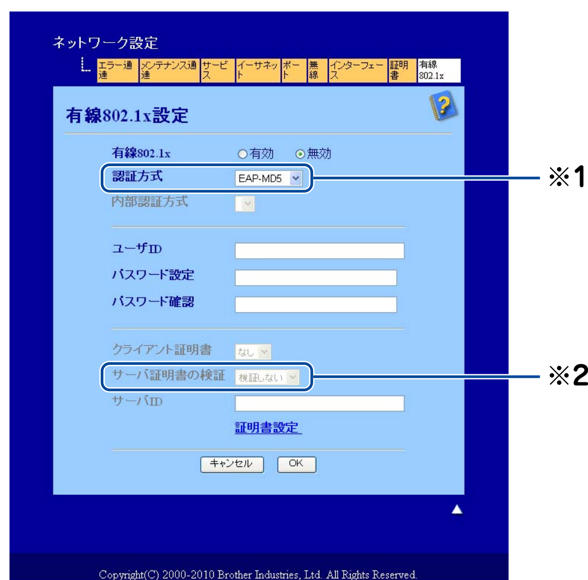
お買い上げ時のユーザー名は”admin”で、パスワードは、”access”に設定されています。

5 有線LANは［有線802.1x設定］をクリックする 無線LANは［無線設定］をクリックし、［エンタープライズ］タブをクリックする



6 IEEE802.1x認証の設定をする

- 有線LANでIEEE802.1xを使用する場合は、有線802.1x設定画面で有線802.1x状態の「有効」を選択してください。
- IEEE802.1x認証と内部認証を設定します。
  認証方式（内部認証）の詳細については、⇒ユーザーズガイド ネットワーク知識編を参照してください。



補足

●「認証方式」（上記画面の※1）

「認証方式」で［EAP-TLS］を選択した場合は、「クライアント証明書」のプルダウンメニューから検証するためにインポートされている証明書を選択する必要があります。

［EAP-FAST］、［PEAP］、［EAP-TTLS］、［EAP-TLS］認証方式を選択した場合は、「サーバ証明書の検証」のプルダウンメニューから検証方法を選択してください。すでに本製品にインポートされているサーバー証明書を認証している証明機関（CA）発行のCA証明書によりサーバー証明書を検証することができます。

●「サーバ証明書の検証」（上記画面の※2）

信頼できるサーバー証明書の場合は、「サーバ証明書の検証」のプルダウンメニューで［検証しない］を選択してください。この場合は、サーバー証明書の検証はされません。
サーバー証明書の証明機関（CA）における信頼性を確認したい場合は「サーバ証明書の検証」のプルダウンメニューでサーバー証明書を認証している証明機関（CA）発行の［CA証明書］を選択してください。
サーバー証明書の証明機関（CA）における信頼性に加えてコモンネーム※を確認したい場合は、「サーバ証明書の検証」のプルダウンメニューで［CA証明書+サーバID］を選択してください。

※ コモンネームの確認は、サーバー証明書のコモンネームとサーバー IDを比較します。
サーバー証明書のコモンネームとサーバーIDについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

7 設定が完了したら、［OK］をクリックする

- 有線LANの場合、設定が終るとIEEE802.1xをサポートしたネットワークに本製品が接続されます。数分後にネットワーク設定リストを出力して、リスト内の<Wired IEEE802.1x>のStatusの項目で、以下のIEEE802.1xの設定状態を確認してください。
  - Success
    有線LANのIEEE802.1x機能が有効であり、かつ認証に成功している状態
  - Failed
    有線LANのIEEE802.1x機能が有効であり、かつ認証に失敗している状態
  - Off
    有線LANのIEEE802.1x機能が無効になっている状態

  詳しくは、⇒47ページ「ネットワーク設定リストの出力」を参照してください。
- 無線LANの場合、設定が終ると自動的にWLANレポート（無線LANレポート）が出力されます。無線LANのIEEE802.1xの状態を確認してください。
  詳しくは、⇒47ページ「WLANレポート（無線LANレポート）の出力」を参照してください。

BRAdmin Professionalを使って安全に管理する（Windows®のみ）

BRAdmin Professionalを使って本製品を安全に管理するには、次の点に従ってください。

- BRAdmin Professionalは、最新バージョンをご使用されることをおすすめします。
  BRAdmin Professional は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。旧バージョンの BRAdmin Professionalを使ってブラザー機器を管理すると、ユーザー認証においてセキュリティ上安全ではありません。
- 旧バージョン※1のBRAdminからアクセスすることを避けたい場合は、ウェブブラウザーを使って「プロトコル設定」画面のSNMPの［詳細設定］で、旧バージョン※1のBRAdminからのアクセスを無効に設定する必要があります。⇒68ページ「ウェブブラウザーを使って安全に管理する」を参照してください。
- BRAdmin Professional とウェブブラウザーを同時にお使いになる場合は、HTTPS プロトコルでウェブブラウザーをお使いください。⇒68ページ「ウェブブラウザーを使って安全に管理する」を参照してください。
- 従来のプリントサーバー※2と本製品のプリントサーバーが混在したグループを BRAdmin Professional で管理している場合は、グループごとに異なるパスワードを使うことをおすすめします。これによって本製品が安全に管理されます。

※1 Ver.2.80以前のBRAdmin Professional、Ver. 1.10以前のMacintosh用BRAdmin Light
※2 NC-2000シリーズ、NC-2100p、NC-3100h、NC-3100s、NC-4100h、NC-5100h、NC-5200h、NC-6100h、NC-6200h、NC-6300h、NC-6400h、NC-8000、NC-100h、NC-110h、NC-120w、NC-130h、NC-140w、NC-8100h、NC-9100h、NC-7100w、NC-7200w、NC-2200w

証明書を使って安全に管理する

本製品では、以下の安全に管理するための複数のセキュリティ証明書、認証方式、セキュリティ通信方式に対応しています。
- SSL/TLS通信
- IEEE802.1x認証方式
- SMTP/POP3のためのSSL通信

本製品は、以下の証明書に対応しています。

● 自己署名証明書を使用する

本製品自ら証明書を発行します。証明機関（CA）から証明書を取得することなく、この証明書を用いて、簡単にSSL/TLS通信を行うことができます。⇒83ページ「自己署名証明書を作成する」を参照してください。

● 証明機関（CA）発行の証明書を使用する

すでに証明機関（CA）発行の証明書を持っている場合、またはその他の信頼された証明機関（CA）が発行した証明書を使用したい場合は、次の2つのインストール方法があります。
- 本製品からCSR（証明書署名要求）を送信するには、⇒89ページ「CSRを作成してインストールする」を参照してください。
- 証明書と秘密鍵をインポートするには、⇒91ページ「証明書と秘密鍵をインポート/エクスポートする」を参照してください。

● CA 証明書

特定した証明機関（CA）の秘密鍵を所有するCA証明書を使用する場合は、証明機関（CA）からCA証明書をインポートし、事前に設定する必要があります。

補足
- ●SSL/TLS通信を行う場合は、あらかじめシステム管理者にお問い合わせいただくことをおすすめします。
- ●本製品は、自己署名証明書と証明機関（CA）が発行した証明書を合わせて３つまで格納することができます。また、CA 証明書を4つまで格納することができます。
- ●本製品を工場出荷時の設定にリセットすると、インストールした証明書と秘密鍵は削除されます。本製品をリセットした後も、同じ証明書と秘密鍵を使用したい場合は、リセットする前にエクスポートしておいてください。⇒ 92 ページ「証明書と秘密鍵をエクスポートする」を参照してください。

証明書設定画面を表示する

証明書機能は、ウェブブラウザーのみで設定できます。ウェブブラウザーを使用して証明書設定画面を表示する場合は、次の手順に従ってください。

1 ウェブブラウザーを起動する

2 ウェブブラウザーのアドレス入力欄に http://XXXXX/ を入力する

［XXXXX］はご使用になる本製品の IP アドレスです。

例）本製品のIPアドレスが192.168.1.2の場合
　　ブラウザーに http://192.168.1.2/ を入力します。

補足

hostsファイルを編集した場合や、DNS（ドメインネームシステム）を使用している場合は、IPアドレスではなく、本製品に割り当てた名前を入力します。本製品は、TCP/IPおよびNetBIOSをサポートしているため、本製品のNetBIOS名を入力することもできます。
NetBIOS名は、ネットワーク設定リストに表示されます。ネットワーク設定リストの印刷方法については、⇒47ページ「ネットワーク設定リストの出力」を参照してください。
お買い上げ時のNetBIOS名は、ノード名（有線LANの場合は“BRNxxxxxxxxxxxx”、無線LANの場合は“BRWxxxxxxxxxxxx”）と同じです。
（「xxxxxxxxxxxx」はMACアドレス（イーサネットアドレス）の12桁です。）

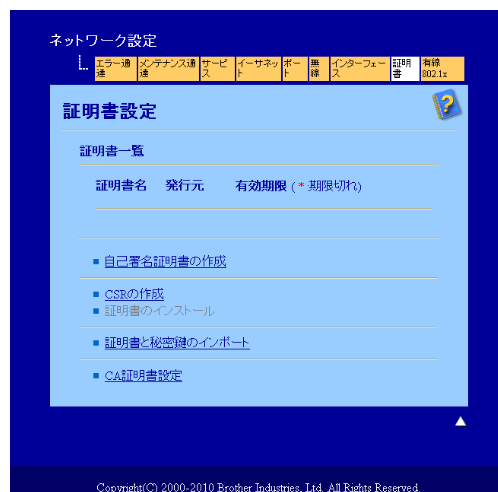
3　本製品のウェブページから［ネットワーク設定］をクリックする

4　［ユーザー名］と［パスワード］を入力し、［OK］をクリックする

お買い上げ時のユーザー名は“admin”で、パスワードは、“access”に設定されています。

5　［証明書設定］をクリックする

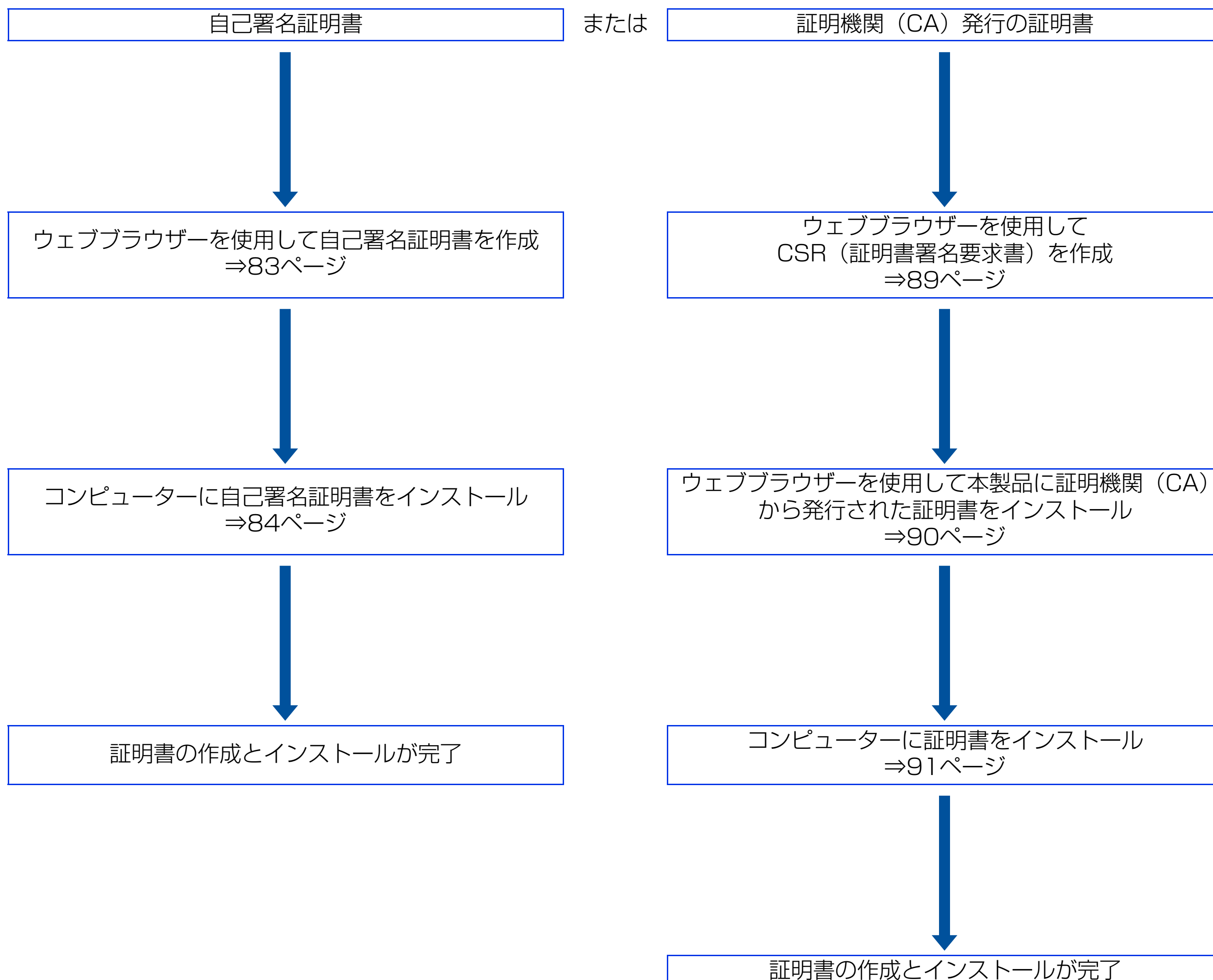
右の画面から証明書を設定できます。



補足

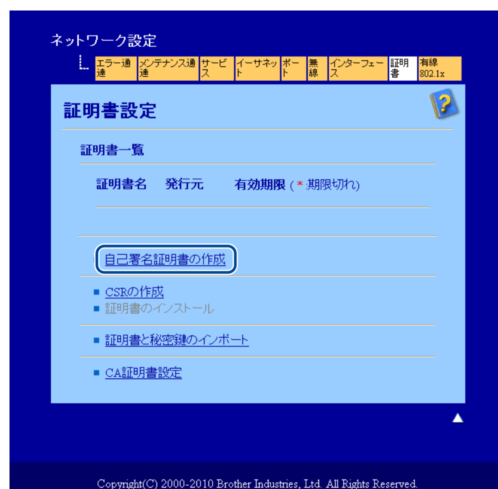
- リンクされていないグレー表示の機能は、利用できません。
- 詳細については、ウェブブラウザーの証明書設定ページのヘルプ ? を参照してください。

証明書の作成とインストールの流れ



自己署名証明書を作成する

1 **「証明書設定」画面の［自己署名証明書の作成］をクリックする**



2 **コモンネームと有効期限を入力して、［OK］をクリックする**

「データ書き込み中」と表示された後に、「自己署名証明書を作成しました。」と表示されます。



補足

- コモンネームは、64 バイト未満にしてください。SSL/TLS 通信を経由して本製品にアクセスする際に用いる IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時はノード名が設定されています。
- IPPS または HTTPS プロトコルを使用している場合に、自己署名証明書に用いたコモンネームと異なる名前をURLに入力すると警告画面が表示されます。

3 **自己署名証明書の作成が終了すると、本製品が自動的に再起動し、自己署名証明書が本製品のメモリに保存される**

SSL/TLS 通信を行うには、ご使用のコンピューターにも自己署名証明書をインストールする必要があります。次の⇒ 84 ページ「自己署名証明書をコンピューターにインストールする」に進んでください。

自己署名証明書をコンピューターにインストールする

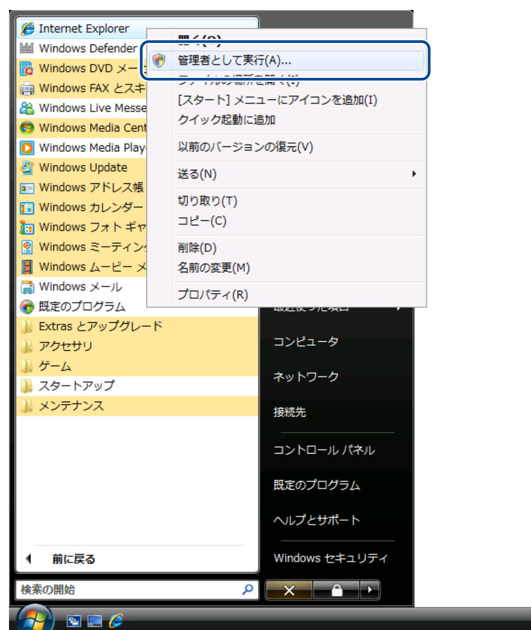
補足

以下の手順は、Microsoft® Internet Explorer®を例にしています。他のウェブブラウザーを使用している場合は、各ウェブブラウザーのヘルプに従ってください。

Windows Vista®、Windows® 7をご使用の場合

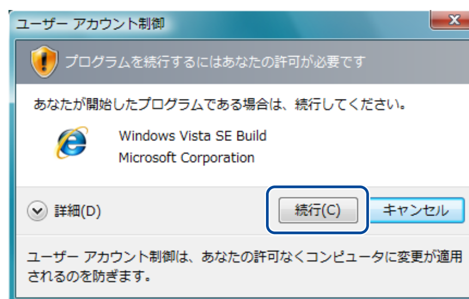
1 ［スタート］メニューから「すべてのプログラム」をクリックする

2 ［Internet Explorer］を右クリックし、［管理者として実行］をクリックする



3 この画面が表示されたら、［続行］をクリックする

Windows Vista® の場合は、［続行］をクリックしてください。
Windows® 7 の場合は、［はい］をクリックしてください。



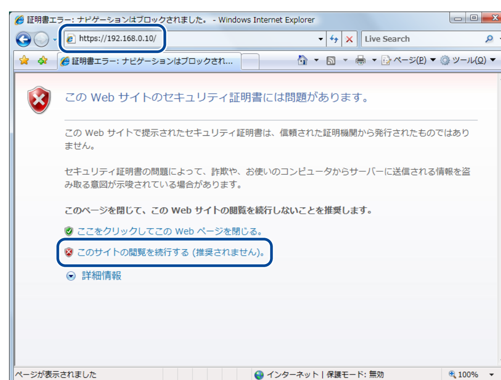
この画面が表示されたら、管理者アカウントのパスワードを入力して、［OK］をクリックする



4

ウェブブラウザーのアドレス入力欄に https://XXXXX/ を入力する

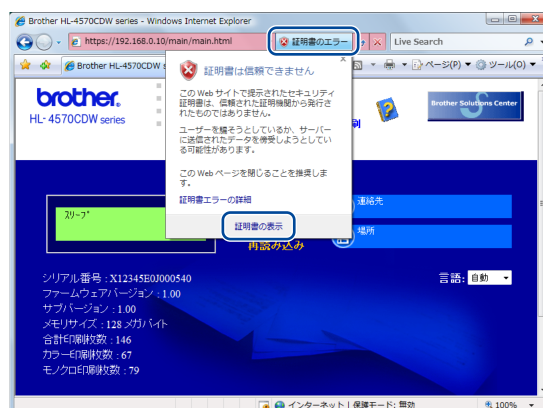
"http" の後ろに "s" を付け、https:// と入力してください。
［XXXXX］は、IP アドレス、ホスト名、ドメイン名などの証明書に割り当てたコモンネームを入力します。
証明書にコモンネームを割り当てる方法については、⇒ 80 ページ「証明書を使って安全に管理する」を参照してください。



次に、「このサイトの閲覧を続行する（推奨されません)。」をクリックする

5

［証明書のエラー］をクリックし、次に［証明書の表示］をクリックする



6

⇒ 86 ページ「Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2008 をご使用の場合」の手順 4 に進む

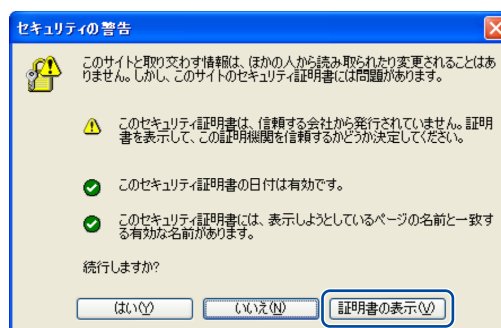
Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2008をご使用の場合

1 **ウェブブラウザーを起動する**

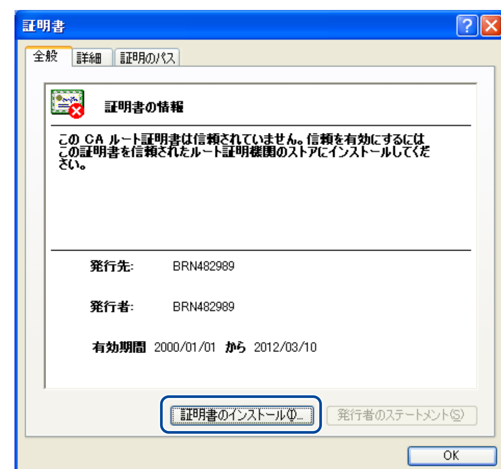
2 **ウェブブラウザーのアドレス入力欄に https://XXXXX/ を入力する**

"http" の後ろに "s" を付け、https:// と入力してください。
［XXXXX］は、IP アドレス、ホスト名、ドメイン名などの証明書に割り当てたコモンネームを入力します。
証明書にコモンネームを割り当てる方法については、⇒ 80 ページ「証明書を使って安全に管理する」を参照してください。

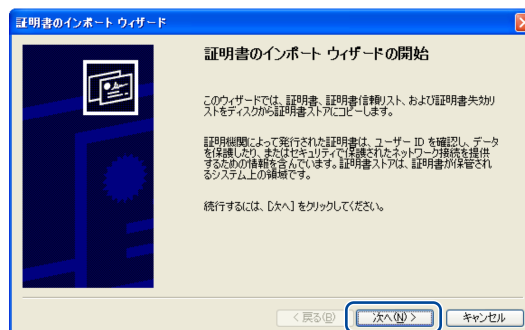
3 **［証明書の表示］をクリックする**



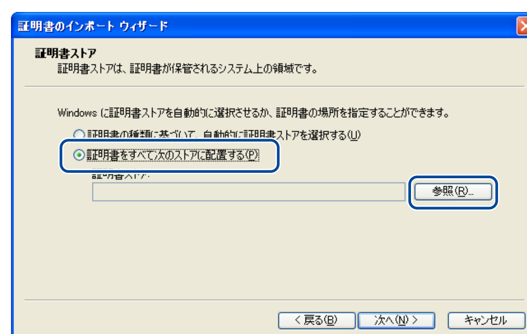
4 **［全般］タブで［証明書のインストール］をクリックする**



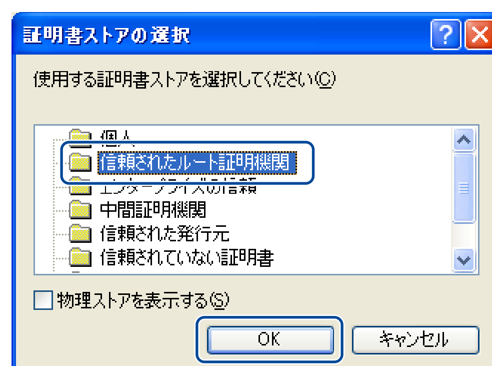
5 **［次へ］をクリックする**



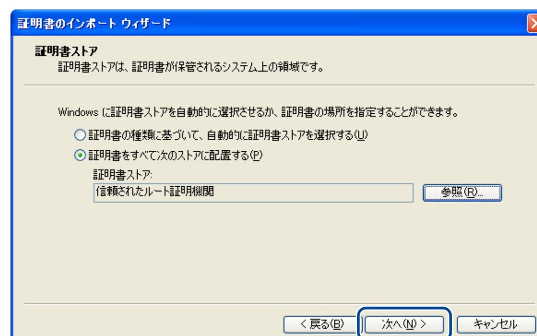
6 ［証明書をすべて次のストアに配置する］を選択し、［参照］をクリックする



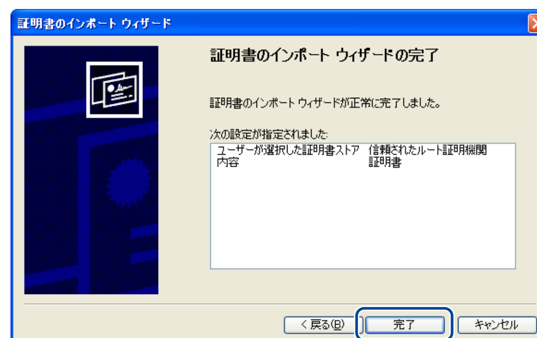
7 「信頼されたルート証明機関」を選択し、［OK］をクリックする



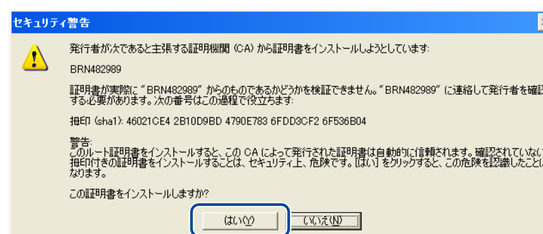
8 ［次へ］をクリックする



9 ［完了］をクリックする



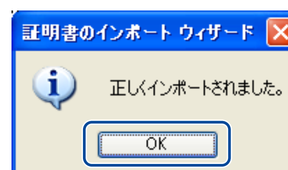
10 フィンガープリント（拇印プリント）が正しければ、［はい］をクリックする



補足

フィンガープリント（拇印プリント）は、プリンター設定一覧で印刷されます。プリンター設定一覧の印刷方法については、⇒ユーザーズガイドを参照してください。

11 ［OK］をクリックする



12 自己署名証明書がコンピューターにインストールされ、SSL/TLS 通信が可能になる

［OK］および［はい］をクリックして、開いている画面を閉じてください。

CSRを作成してインストールする

CSRを作成する

1 「証明書設定」画面の［CSRの作成］をクリックする

2 コモンネームと組織などの情報を入力して、［OK］をクリックする

補足

- CSR を作成する前に、証明機関（CA）発行のルート証明書を、お使いのコンピューターにインストールすることをおすすめします。
- コモンネームは、64 バイト未満にしてください。SSL/TLS 通信を経由して本製品にアクセスする際に用いる IP アドレス、ノード名、ドメイン名などの識別子を入力します。お買い上げ時の設定として、ノード名が表示されます。コモンネームは必須入力項目です。
- 自己署名証明書に用いたコモンネームと異なる名前をURLに入力すると、警告画面が表示されます。
- 組織、部署、市、県/州の長さは、64バイト未満にしてください。
- 国は、二文字からなるISO 3166国コードを使用してください。

3 CSR の内容が表示されたら［保存］をクリックし、CSR ファイルをコンピューターに保存する

4 CSR が作成される

補足

- CSRを証明機関（CA）に送信する方法については、証明機関（CA）の方針に従ってください。
- Windows Server® 2003/2008 の「エンタープライズのルート CA」をご使用の場合は、証明書の作成時に「証明書テンプレート」の「Webサーバー」を選択することをおすすめします。
  IEEE802.1x認証方式のEAP-TLS認証のために証明書を作成する場合は、「証明書テンプレート」の「ユーザー」を選択することをおすすめします。
- 詳細については、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。

本ガイドの使い方・目次
ネットワークの設定
無線LANの設定
ブラザーインストーラーを使用して無線LANを設定する
操作パネルで設定する
ウェブブラウザーで管理する
セキュリティ機能
困ったときは（トラブル対処方法）
付録

証明書をインストールする

証明機関（CA）から証明書を受け取ったら、以下の手順に従って本製品にインストールしてください。



本製品のCSRで発行された証明書以外はインストールできません。



「証明書設定」画面の［証明書のインストール］をクリックする



証明機関（CA）が発行した証明書のファイルを指定し、［OK］をクリックする



証明書が正しく作成される



他の証明設定を作成する場合は、画面の指示に従う



本製品の電源を入れ直す



証明書が本製品にインストールされる

SSL/TLS 通信を行うには、ご使用のコンピューターにも証明機関（CA）発行のルート証明書をインストールする必要があります。インストールについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

証明書と秘密鍵をインポート/エクスポートする

証明書と秘密鍵をインポートする

1. 「証明書設定」画面の［証明書と秘密鍵のインポート］をクリックする
2. インポートしたいファイルを指定する
3. ファイルが暗号化されている場合は、パスワードを入力し、[OK] をクリックする
4. 証明書と秘密鍵が正しく作成される
5. 他の証明設定を作成する場合は、画面の指示に従う
6. 本製品の電源を入れ直す
7. 証明書と秘密鍵が本製品にインポートされる
   SSL/TLS 通信を行うには、ご使用のコンピューターにも証明機関（CA）発行のルート証明書をインストールする必要があります。インストールについては、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

証明書と秘密鍵をエクスポートする

1 「証明書設定」画面の［エクスポート］をクリックする

2 ファイルを暗号化したい場合は、パスワードを入力する

注意

パスワードが空白のままだと、暗号化されません。

3 確認のため、再度パスワードを入力し、［OK］をクリックする

4 ファイルを保存したい場所を指定する

5 証明書と秘密鍵がコンピューターにエクスポートされる

補足

エクスポートしたファイルをインポートすることもできます。

複数の証明書を管理する

インストールされた複数の証明書は、ウェブブラウザーを使うことにより、管理することができます。証明書をインストールした後に、証明書設定画面からインストールされた証明書を確認することができます。また、証明書の内容を確認、削除、エクスポートすることもできます。
証明書設定画面については、⇒80ページ「証明書設定画面を表示する」を参照してください。
本製品は、自己署名証明書と証明機関（CA）が発行した証明書を合わせて3つまで格納することができます。HTTPS/IPPSプロトコル、またはIEEE802.1x認証方式を使用するときに格納された証明書を使用することができます。また、IEEE802.1x認証方式とSSL for SMTP/POP3を使用して、4つのCA証明書を格納することができます。
証明書の有効期限に対応するため、自己署名証明書と証明機関（CA）発行の証明書をそれぞれ1つ以上格納しないことをおすすめします。例えば、CA証明書を格納する場合、3つの証明書を格納し、1つを予備として空けておきます。証明書の有効期限が切れた場合は、設定エラーを防ぐために新しい証明書を予備に格納してから有効期限切れの証明書を削除してください。

補足
HTTPS/IPPSプロトコル、またはIEEE802.1x認証方式を使用する場合は、使用する証明書を選択してください。

CA証明書をインポート/エクスポートする

CA証明書をインポートする

1. 「証明書設定」画面の［CA証明書設定］をクリックする
2. ［CA証明書のインポート］をクリックする
3. ［OK］をクリックする
   CA 証明書が本製品にインポートされます。

CA証明書をエクスポートする

1. 「証明書設定」画面の［CA証明書設定］をクリックする
2. エクスポートしたい CA 証明書を選択し、［エクスポート］をクリックする
3. ［OK］をクリックする
   CA 証明書がコンピューターにエクスポートされます。

7章

困ったときは（トラブル対処方法）

概要

この章では、ネットワークに関してトラブルが発生したときの対応方法について説明しています。
該当する問題のページをご覧ください。
問題が解決しない場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。

無線LANアクセスポイントに接続できない

無線LANに接続できない場合は、以下の確認、またはお問い合わせをしてください。それでも接続ができない場合は、かんたん設置ガイドを参照してください。

無線 LAN アクセスポイントと本製品が離れすぎていませんか？間に障害物がありませんか？

本製品を見通しの良い場所へ移動させたり、無線LANアクセスポイントに近づけてください。
セットアップ時は1m以内に近づけてください。

近くに無線 LAN に影響を及ぼすものはありませんか？

本製品の近くに、他の無線LANアクセスポイントやコンピューター、Bluetooth対応機器、電子レンジ、デジタルコードレス電話がある場合は離してください。

以下の場合は、お使いのブロードバンドルーターなどのメーカーにお問い合わせください。

無線 LAN アクセスポイントが正常に動作していますか？

無線LANでインターネットに接続できるかお試しください。
接続できない場合は、無線LANアクセスポイントが正常に動作していない可能性があります。

アクセス制限を設定していませんか？

本製品のIPアドレスを無線LANアクセスポイントに登録して、通信を許可してください。

補足

本製品のMACアドレスを調べるには、⇒44ページ「MACアドレス」を参照してください。

SSID を表示させない設定にしていませんか？

無線LANアクセスポイントのステルス（SSIDの隠ぺい）機能を使用しているときは、本製品がSSIDを自動的に見つけることはできません。本製品のSSIDを操作パネルから入力してください。詳しくは、⇒24ページ「操作パネルから手動で無線LAN設定をする」を参照してください。

ネットワークキーやパスワードの設定は正しいですか？

大文字、小文字は区別されます。認証されないときは、パスワードが間違っていないか確認してください。

近くで別の無線機器を使用していませんか？

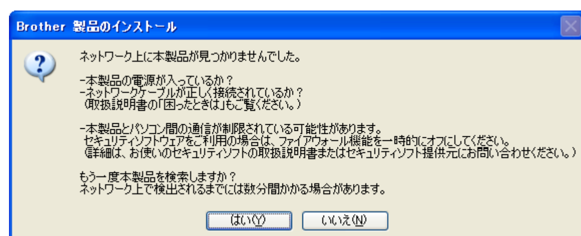
マンションやアパートでご近所にすでに別の無線機器が導入されているときは、干渉を避けるため、相手の無線機器が使用しているチャンネル番号から5ch離して設定してください。

インストール時、ネットワーク上に本製品が見つからない

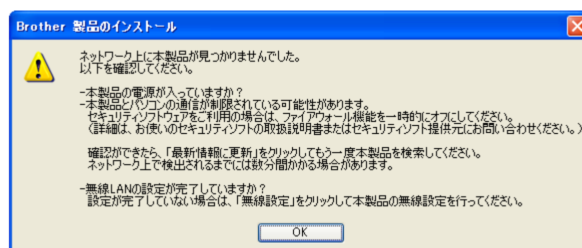
注意

■以下の画面が表示されたときは、記載内容を確認し、有線LANの場合は［はい］をクリック、無線LANの場合は［OK］－［最新の情報に更新］の順にクリックして再度検索を行います。

有線LANの場合



無線LANの場合



■それでも検索されない場合、有線 LAN のときは、［いいえ］をクリックし、表示される画面の指示に従って、IP アドレスなどを設定してください。無線LANのときは、［OK］をクリックし、前の画面に戻り、［無線設定］をクリックして無線の設定を行ってください。

以下の項目を確認してください。

1 **お使いのコンピューターから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか確認する**

⇒99 ページ「ネットワーク機器に問題ないか調べるには」

2 **セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する**

⇒99 ページ「セキュリティソフトウェアについて」

3 **設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないか確認する**

⇒100 ページ「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

印刷できない

以下の項目を確認してください。

1 お使いのコンピューターから本製品までの接続ケーブルや接続機器が正常に動作しているか確認する

⇒ 99 ページ「ネットワーク機器に問題ないか調べるには」

2 セキュリティソフトによってブロックされていないか確認する

⇒ 99 ページ「セキュリティソフトウェアについて」

3 設定しているネットワーク情報（IP アドレス）に誤りがないかを確認する

⇒ 100 ページ「ネットワークの設定がうまくいかないときは」

4 ルーターやスイッチングハブの電源を入れなおす

頻繁に接続しなおしたり、接続している製品の IP アドレスを繰り返し変更した直後には、IP アドレス設定に間違いがなくても正常に動作しない可能性があります。ルーターやハブ（HUB）の電源を入れなおしてください。

5 古い印刷ジョブを削除する

印刷に失敗した古いデータが残っていると印刷できない場合があります。プリンターフォルダー内のプリンターアイコンをダブルクリックし、［プリンタ］メニューから［すべてのドキュメントの取り消し］を行ってください。

プリンターフォルダーの表示方法

- Windows Vista®の場合
  ［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［プリンタ］の順にクリックします。
- Windows® 7の場合
  ［スタート］－［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］－［デバイスとプリンター］の順にクリックします。
- Windows® XPの場合
  ［スタート］－［コントロールパネル］－［プリンタとその他のハードウェア］－［プリンタとFAX］の順にクリックします。
- Windows® 2000の場合
  ［スタート］－［設定］－［プリンタ］の順にクリックします。

補足

- ●問題が解決できなかった場合は、一度ドライバーとソフトウェアをアンインストールして、かんたん設置ガイドに従って、再度インストールしなおすことをおすすめします。
- ●アンインストールの方法（Windows®の場合）
  ［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［HL-4570CDW LAN］を選び、［アンインストール］をクリックします。画面の指示に従ってアンインストールをしてください。

ネットワーク機器に問題ないか調べるには

お使いのコンピューターから本製品までの接続機器が正常に稼動しているか、以下の点を確認してください。

本製品の電源は入っていますか？

電源を入れて、印刷できる状態であることを確認します。エラーが出ている場合は、⇒ユーザーズガイドの「困ったときには」を参照してエラーを解除してください。

有線 LAN の場合

接続したルーターやハブ（HUB）のランプは点灯/点滅していますか？



ハブ（HUB）またはルーターなどの LAN ポートにコンピューターと本製品が正しく接続されている？

- 接続されていない場合は正しく接続しなおしてください。
- ストレートケーブル以外は使用しないでください。
- 他のケーブルで接続しなおしてください。



ルーター / ハブ（HUB）のリンクランプが点灯 / 点滅している？

一般的に、ルーター / ハブ（HUB）には接続状態を示すリンクランプがあり、点灯 / 点滅で接続状態を確認できます。

点灯 / 点滅していない場合には

- 他のLANポートに接続しなおす
- 他のLANケーブルに差し換える

ことで改善されるかお試しください。
それでも点灯 / 点滅しない場合は、ハブ（HUB）または、ルーターのメーカーにご相談ください。

セキュリティソフトウェアについて

インストール

市販のセキュリティソフトでパーソナルファイアウォール機能が有効に設定されていると、インストール中にセキュリティの許可を促す画面が表示されることがあります。この場合は許可をしてください。

注意

セキュリティ許可を促す画面で、拒否をするとインストールが完了できないことがあります。この場合は、一時的にセキュリティソフトを停止し、ドライバーのインストールをやり直してください。

印刷機能をご利用になるとき

インストール完了後、印刷機能をご利用になるときに、セキュリティ許可を促す画面が表示されることがあります。この場合も許可してください。

拒否をした場合、セキュリティの解除方法については、お使いのセキュリティソフトの取扱説明書をご確認いただくか、またはセキュリティソフト提供元にお問い合わせください。

ネットワークの設定がうまくいかないときは

設定しているネットワーク情報（IPアドレスおよびサブネットマスク）に誤りがないかどうかを確認します。
お使いのコンピューターと本製品のIPアドレスおよびサブネットマスクを以下の手順で確認します。
Windows®の場合は、「ネットワークプリンター診断修復ツール」が用意されています。はじめに、このツールを使って自動で修復できるかどうかお試しください。
Macintosh の場合は、お使いのコンピューターと本製品の IP アドレスおよびサブネットマスクを確認し、手動で再設定を行ってください。再設定については、⇒9ページ「ネットワークの設定」をご覧ください。

「ネットワークプリンター診断修復ツール」を使用する（Windows®のみ）

「ネットワークプリンター診断ツール」でネットワークプリンターを診断し、その結果を表示、場合によっては問題を自動で修復します。

補足

- Windows® 2000 Professional/XP/XP Professional x64 Edition/Windows Vista®/Windows® 7 を使用している場合は、ネットワーク管理者権限でネットワークにログインしてください。
- 本製品の電源を入れ、コンピューターとネットワーク接続した状態で、以下の手順を実行してください。

1 **Windows® 2000/XP/Windows Server® 2003/2008 は、**
［スタート］メニューから［すべてのプログラム (プログラム)］－［アクセサリ］－［エクスプローラ］をクリックし、［マイコンピュータ］をクリックする
Windows Vista® は、
［スタート］メニューから［コンピュータ］をクリックする
Windows® 7 は、
［スタート］メニューから［コンピューター］をクリックする

2 **［ローカルディスク（C:)］－［Program Files（Program Files（x86))］－［Browny02］－［Brother］を選び、［BrotherNetTool.exe］をダブルクリックする**

補足

Windows Vista®の場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたら、［許可］をクリックしてください。
Windows® 7の場合は、［はい］をクリックしてください。

3 **画面の指示に従い、診断修復を行う**

ネットワークプリンター診断修復ツールを使用しても改善しない場合は、ネットワーク管理者へのお問い合わせ、またはサポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。

補足

ステータスモニターを使用して、ネットワークプリンター診断修復ツールを自動的に起動させることができます。以下の手順に従って設定してください。
① ステータスモニターを表示させて右クリックします。
② ［オプション］-［詳細設定］-［診断］タグをクリックします。
③「接続状態を常に監視する」のチェックボックスにチェックを入れ、［OK］をクリックします。
ステータスモニターの表示方法については、⇒ユーザーズガイドを参照してください。
ただし、ネットワークプリンター診断修復ツールを使用して自動修復を行った場合、ネットワーク管理者が設定した固定のIPアドレスが自動的に変更される場合があるのでおすすめしません。

1. コンピューターのネットワーク情報を調べる

Windows®の場合

1 ［スタート］メニューから［すべてのプログラム（プログラム）］－［アクセサリ］を選び、［コマンドプロンプト］をクリックする

2 「ipconfig」と入力し、Enter キーを押す

3 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する

例）画面はWindows® XPです。
　Windows Vista® の場合は、IPv4 Address、IPv6 Addressの両方が表示されます。



ここを調べる

（A）コンピューター側記入欄

IP Address （IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask （サブネットマスク）	.	.	.	

4 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask （サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

5 「exit」と入力し、Enter キーを押して終了する

Mac OS X 10.4.11の場合

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］ー［ネットワーク］をクリックする

3 ［設定］ー［TCP/IP］をクリックする

4 「IP アドレス」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

ネットワーク設定画面で［手入力］に設定していない場合は、表示されないことがあります。

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

5 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

Mac OS X 10.5.x，10.6.xの場合

1 画面左上の［アップルマーク］をクリックする

2 ［システム環境設定］－［ネットワーク］をクリックする

3 ［詳細］－［TCP/IP］をクリックする

4 「IPv4アドレス（IPアドレス）」と「サブネットマスク」を確認し、値を記入する

IP Address（IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask（サブネットマスク）	.	.	.	

5 「Subnet Mask（サブネットマスク）」の値を確認する

Subnet Mask（サブネットマスク）	255.	255.	255.	0

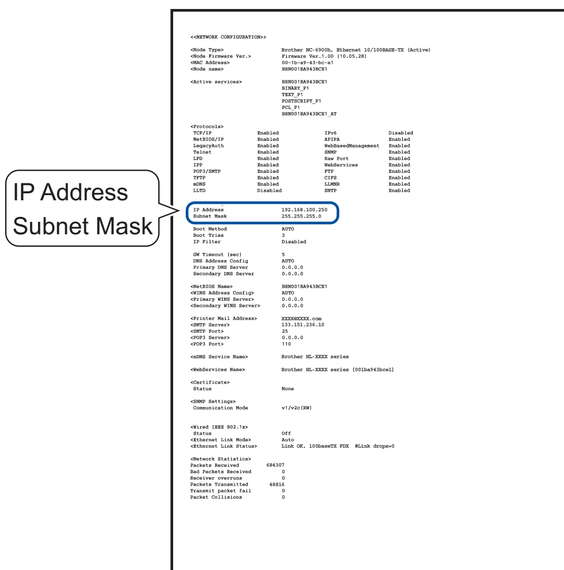
上記のように「255.255.255.0」であることを確認してください。
「255.255.255.0」以外の場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

2. 本製品のネットワーク情報を調べる

1 ネットワーク設定リストを印刷する

⇒ 47 ページ「ネットワーク設定リストの出力」

2 「IP Address（IP アドレス）」と「Subnet Mask（サブネットマスク）」の行を確認し、値を記入する




```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                 Brother NC-6900h, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<Node Firmware Ver.>        Firmware Ver.1.00 (10.05.28)
<MAC Address>               00-1b-a9-43-bc-e1
<Node name>                 BRN001BA943BCE1

<Active services>           BRN001BA943BCE1
                            BINARY_P1
                            TEXT_P1
                            POSTSCRIPT_P1
                            PCL_P1
                            BRN001BA943BCE1_AT

<Protocols>
 TCP/IP             Enabled          IPv6                  Disabled
 NetBIOS/IP         Enabled          APIPA                 Enabled
 LegacyAuth         Enabled          WebBasedManagement    Enabled
 Telnet             Enabled          SNMP                  Enabled
 LPD                Enabled          Raw Port              Enabled
 IPP                Enabled          WebServices           Enabled
 POP3/SMTP          Enabled          FTP                   Enabled
 TFTP               Enabled          CIFS                  Enabled
 mDNS               Enabled          LLMNR                 Enabled
 LLTD               Disabled         SNTP                  Enabled

 IP Address                 192.168.100.250
 Subnet Mask                255.255.255.0

 Boot Method                AUTO
 Boot Tries                 3
 IP Filter                  Disabled

 GW Timeout (sec)           5
 DNS Address Config         AUTO
 Primary DNS Server         0.0.0.0
 Secondary DNS Server       0.0.0.0

<NetBIOS Name>              BRN001BA943BCE1
<WINS Address Config>       AUTO
<Primary WINS Server>       0.0.0.0
<Secondary WINS Server>     0.0.0.0

<Printer Mail Address>      XXXX@XXXX.com
<SMTP Server>               133.151.236.10
<SMTP Port>                 25
<POP3 Server>               0.0.0.0
<POP3 Port>                 110

<mDNS Service Name>         Brother HL-XXXX series

<WebServices Name>          Brother HL-XXXX series [001ba943bce1]

<Certificate>
 Status                     None

<SNMP Settings>
 Communication Mode         v1/v2c(RW)


<Wired IEEE 802.1x>
 Status                     Off
<Ethernet Link Mode>        Auto
<Ethernet Link Status>      Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received        684307
Bad Packets Received         0
Receiver overruns            0
Packets Transmitted      48816
Transmit packet fail         0
Packet Collisions            0
```

（B）本製品側記入欄

IP Address （IPアドレス）	.	.	.	
Subnet Mask （サブネットマスク）	.	.	.	

3. コンピューターのIPアドレスと本製品のIPアドレスを比較する

⇒101ページ「1. コンピューターのネットワーク情報を調べる」で書き留めた（A）の値と、⇒104ページ「2. 本製品のネットワーク情報を調べる」で書き留めた（B）の値を比較します。

（A）コンピューター側

IP Address（IPアドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

（B）本製品側

IP Address（IPアドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

1 **（A）と（B）の太枠の部分が同じであることを確認する**

例）サブネットマスクの値が［255.255.255.0］の場合

（A）コンピューター側

IP Address（IPアドレス）	192.	168.	123.	011

（B）本製品側

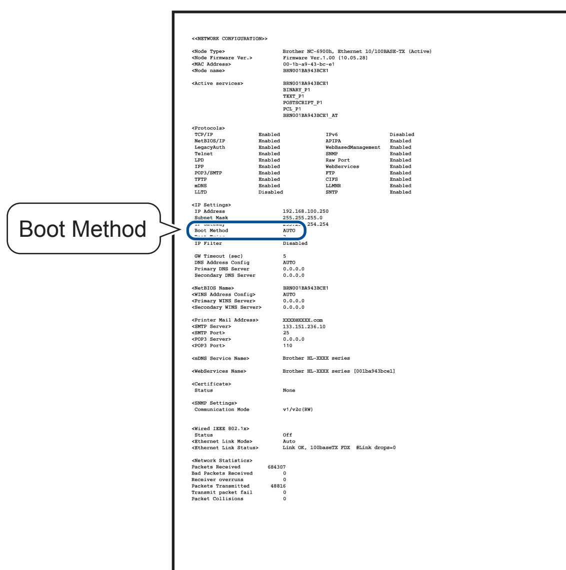
IP Address（IPアドレス）	192.	168.	123.	250

2 **手順 1 の表の灰色の部分の値が、（A）と（B）で異なることを確認する**

3 **手順 1 の表の灰色の部分の値が、2 ～ 254 の範囲内であることを確認する**

4. 本製品のIPアドレス取得方法を確認する

⇒104ページ「2. 本製品のネットワーク情報を調べる」で印刷したネットワーク設定リストの、「Boot Method」の項目を確認します。




```
<<NETWORK CONFIGURATION>>

<Node Type>                  Brother NC-6900h, Ethernet 10/100BASE-TX (Active)
<Node Firmware Ver.>         Firmware Ver.1.00 (10.05.28)
<MAC Address>                00-1b-a9-43-bc-e1
<Node name>                  BRN001BA943BCE1

<Active services>            BRN001BA943BCE1
                             BINARY_P1
                             TEXT_P1
                             POSTSCRIPT_P1
                             PCL_P1
                             BRN001BA943BCE1_AT

<Protocols>
 TCP/IP           Enabled          IPv6                 Disabled
 NetBIOS/IP       Enabled          APIPA                Enabled
 LegacyAuth       Enabled          WebBasedManagement   Enabled
 Telnet           Enabled          SNMP                 Enabled
 LPD              Enabled          Raw Port             Enabled
 IPP              Enabled          WebServices          Enabled
 POP3/SMTP        Enabled          FTP                  Enabled
 TFTP             Enabled          CIFS                 Enabled
 mDNS             Enabled          LLMNR                Enabled
 LLTD             Disabled         SNTP                 Enabled

<IP Settings>
 IP Address                  192.168.100.250
 Subnet Mask                 255.255.255.0
 Boot Method                 AUTO
 IP Filter                   Disabled

 GW Timeout (sec)            5
 DNS Address Config          AUTO
 Primary DNS Server          0.0.0.0
 Secondary DNS Server        0.0.0.0

<NetBIOS Name>               BRN001BA943BCE1
<WINS Address Config>        AUTO
<Primary WINS Server>        0.0.0.0
<Secondary WINS Server>      0.0.0.0

<Printer Mail Address>       XXXX@XXXX.com
<SMTP Server>                133.151.236.10
<SMTP Port>                  25
<POP3 Server>                0.0.0.0
<POP3 Port>                  110

<mDNS Service Name>          Brother HL-XXXX series

<WebServices Name>           Brother HL-XXXX series [001ba943bce1]

<Certificate>
 Status                      None

<SNMP Settings>
 Communication Mode          v1/v2c(RW)


<Wired IEEE 802.1x>
 Status                      Off
<Ethernet Link Mode>         Auto
<Ethernet Link Status>       Link OK, 100baseTX FDX  #Link drops=0

<Network Statistics>
Packets Received        684307
Bad Packets Received         0
Receiver overruns            0
Packets Transmitted      48816
Transmit packet fail         0
Packet Collisions            0
```

- **「Boot Method」が「AUTO」の場合**

  本製品をコンピューターと同じルーターやハブに接続し、本製品の電源を入れなおしてください。それでも改善されない場合は、以下の『「Boot Method」が「STATIC」の場合』を参照して手動で設定してください。

- **「Boot Method」が「STATIC」の場合**

  本製品のIPアドレスを以下のように設定してください。

IP Address（IPアドレス）	XXX.	XXX.	XXX.	XXX

太枠内

⇒101ページ「1. コンピューターのネットワーク情報を調べる」の（A）と同じ値を設定してください。

上記表の灰色の部分

ネットワークに参加しているすべてのコンピューターと異なる、2～254の値を設定してください。

この場合、他の機器と同じIPアドレスにならないように、200～250の範囲内でIPアドレスを選択することをおすすめします。（例えば、本製品のIPアドレスを192.168.123.250に割り当てます。）

詳しくは、お使いのルーターの取扱説明書をご確認いただくか、またはルーター提供元にお問い合わせください。

補足

本製品のIPアドレス設定方法は、⇒42ページ「IPアドレス」を参照してください。

5. ドライバーの再インストールをする

現在の設定を有効にするために、ドライバーのインストールを行います。すでにインストールが完了している場合は、アンインストールが必要です。

補足

Macintoshの場合は、アンインストールは不要です。

アンインストール方法

［スタート］メニューから、［すべてのプログラム（プログラム）］－［Brother］－［HL-4570CDW LAN］を選び、［アンインストール］をクリックします。
後の操作は画面の指示に従ってください。

8章

付録

仕様

プリントサーバー

有線LAN

項目	内容	
ネットワークノードタイプ	NC-6900h	
対応オペレーティングシステム（OS）	Windows® 2000 Professional/ XP Home Edition/ XP Professional Edition/ XP Professional x64 Edition/ Windows Vista® およびWindows® 7 Windows Server® 2003/ 2003 x64 Edition/ 2008/ 2008 R2 Mac OS X 10.4.11以降	
プロトコル	TCP/IP：IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA（Auto IP）、WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP/IPPS、FTP Server、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS Server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMP、WebServices（Print）、SNTP Client、CIFS Client、LLTD responder
	TCP/IP：IPv6※1	NDP、RA、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP/IPPS、FTP Server、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、HTTP/HTTPS Server、TFTP Client and Server、SMTP Client、ICMPv6、WebServices（Print）、SNTP Client、CIFS Client、LLTD responder
ネットワークタイプ	10/100BASE-TXイーサネット	
ネットワークのセキュリティ	POP before SMTP、SMTP-AUTH、APOP、SSL/TLS（IPPS、HTTPS、SMTP、POP）、SNMP v3、802.1x（EAP-MD5、EAP-FAST、PEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS）、Kerberos	
ネットワーク印刷	Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2008、Windows Vista®、Windows® 7 TCP/IP印刷 Mac OS X 10.4.11以降 Macintosh印刷	
管理ユーティリティ	BRAdmin Light ※2 BRAdmin Professional ※3 BRPrint Auditor ソフトウェア※4 ウェブブラウザー	

※1　IPv6 プロトコルの詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。
※2　高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））から最新のBRAdmin Professionalをダウンロードして使用してください。
※3　BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。Windows®でのみ使用できます。
※4　USBを経由してクライアントコンピューターに接続している本製品を、BRAdmin Professionalから管理できます。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

無線LAN

項目	内容	
ネットワークノードタイプ	NC-7700w	
対応オペレーティングシステム（OS）	Windows® 2000 Professional/ XP Home Edition/ XP Professional Edition/ XP Professional x64 Edition/ Windows Vista® およびWindows® 7 Windows Server® 2003/ 2003 x64 Edition/ 2008/ 2008 R2 Mac OS X 10.4.11以降	
プロトコル	TCP/IP：IPv4	ARP、RARP、BOOTP、DHCP、APIPA（Auto IP）、 WINS/NetBIOS name resolution、DNS Resolver、mDNS、 LLMNR responder、LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、 IPP/IPPS、FTP Server、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、 HTTP/HTTPS Server、TFTP Client and Server、SMTP Client、 ICMP、WebServices（Print）、SNTP Client、CIFS Client、 LLTD responder
	TCP/IP：IPv6※1	NDP、RA、DNS Resolver、mDNS、LLMNR responder、 LPR/LPD、Custom Raw Port/Port 9100、IPP/IPPS、 FTP Server、TELNET Server、SNMPv1/v2c/v3、 HTTP/HTTPS Server、TFTP Client and Server、SMTP Client、 ICMPv6、WebServices（Print）、SNTP Client、CIFS Client、 LLTD responder
ネットワークタイプ	IEEE802.11b/gワイヤレス	
周波数	2400 ～ 2497 MHz	
RFチャンネル	802.11b（1-14）、802.11g（1-13）	
接続モード	アドホックモード（802.11bのみ）、インフラストラクチャモード	
データ転送速度	802.11b	11/5.5/2/1 Mbps
	802.11g	54/48/36/24/18/12/11/9/6/5.5/2/1 Mbps
最大到達距離	70m（最も低いデータ転送速度） （数値はご使用の環境など、様々な要素によって変化します。）	
ネットワークのセキュリティ	WEP 64/128bit、WPA-PSK（TKIP/AES）、WPA2-PSK（AES）、 POP before SMTP、SMTP-AUTH、APOP、 SSL/TLS（IPPS、HTTPS、SMTP、POP）、SNMP v3、 802.1x（LEAP、EAP-FAST、PEAP、EAP-TLS、EAP-TTLS）、Kerberos	
ネットワーク印刷	Windows® 2000/XP、Windows Server® 2003/2008、Windows Vista®、 Windows® 7 TCP/IP印刷、 Mac OS X 10.4.11以降 Macintosh印刷	
簡単設定	AOSS™, WPS（Wi-Fi Protected Setup）	
管理ユーティリティ	BRAdmin Light ※2 BRAdmin Professional ※3 BRPrint Auditor ソフトウェア※4 ウェブブラウザー	

※1　IPv6 プロトコルの詳細は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））を参照してください。

※2　高度なプリンター管理が必要な場合は、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））から最新のBRAdmin Professionalをダウンロードして使用してください。

※3　BRAdmin Professionalは、サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。Windows®でのみ使用できます。

※4　USBを経由してクライアントコンピューターに接続している本製品を、BRAdmin Professionalから管理できます。サポートサイト（ブラザーソリューションセンター（http://solutions.brother.co.jp/））からダウンロードできます。

索　引